

第 3 部 調査結果の詳細

第1章「秋田県総合計画～秋田再興への第一歩～」について

1 各政策の施策に関連する項目についての満足度（問1）

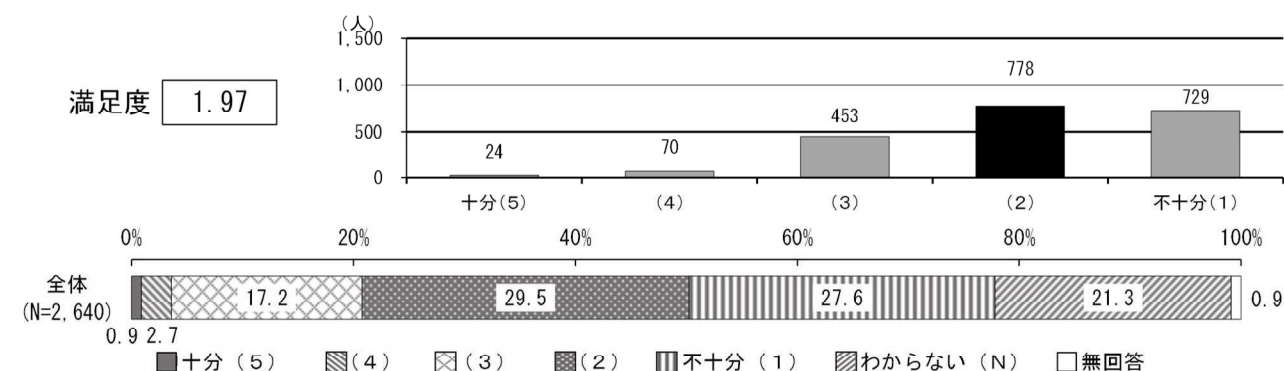
総合計画の各施策に関連する項目について、満足度を「十分（5）」～「不十分（1）」の5段階で質問した。

（1）政策1 未来づくりに関する項目

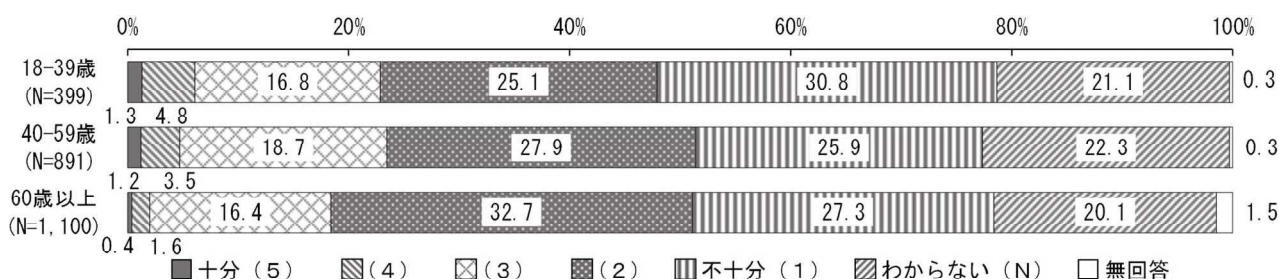
ア 秋田移住の加速

問1-1 県外からの移住が進んでいる

満足度の状況



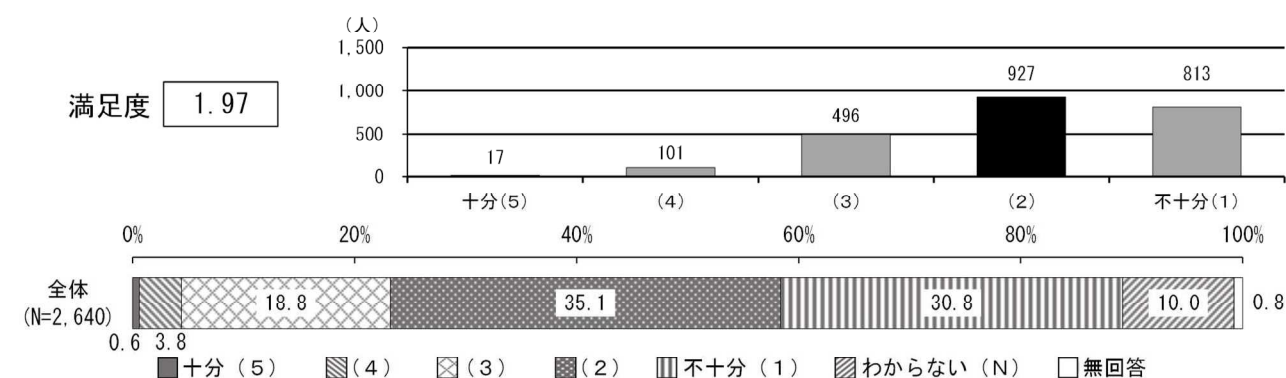
【年代別】



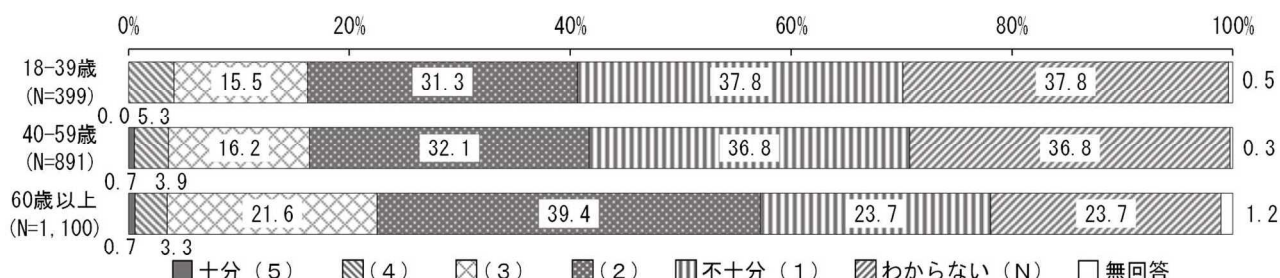
イ 若者の県内就職の促進

問 1-2 若者の県内就職が進んでいる

満足度の状況



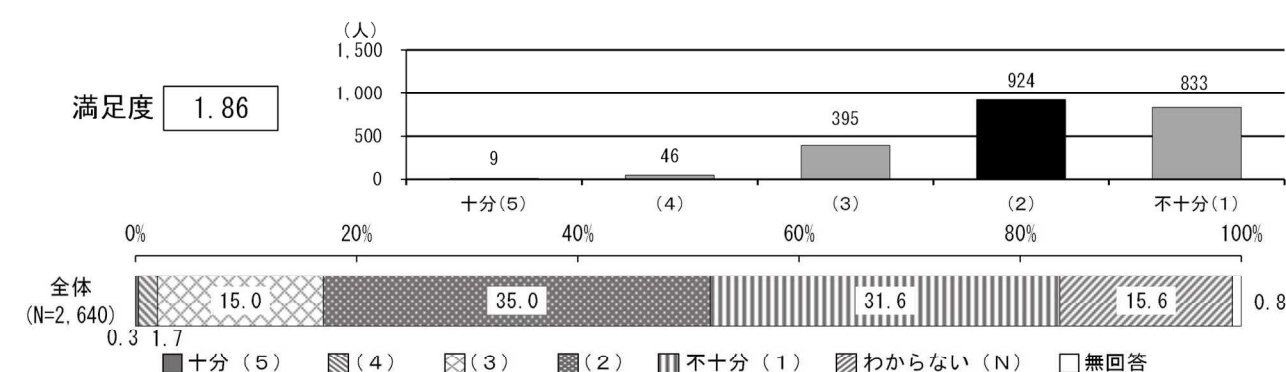
【年代別】



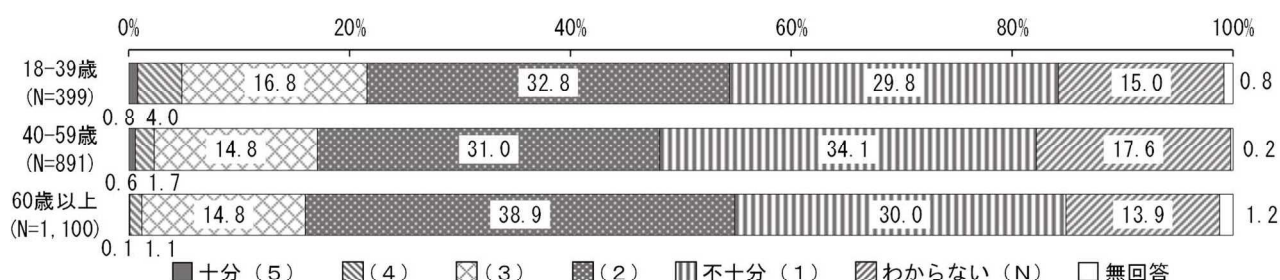
ウ 結婚の希望をかなえる実効性のある支援

問 1-3 出会いや結婚の希望をかなえられる環境づくりが進んでいる

満足度の状況



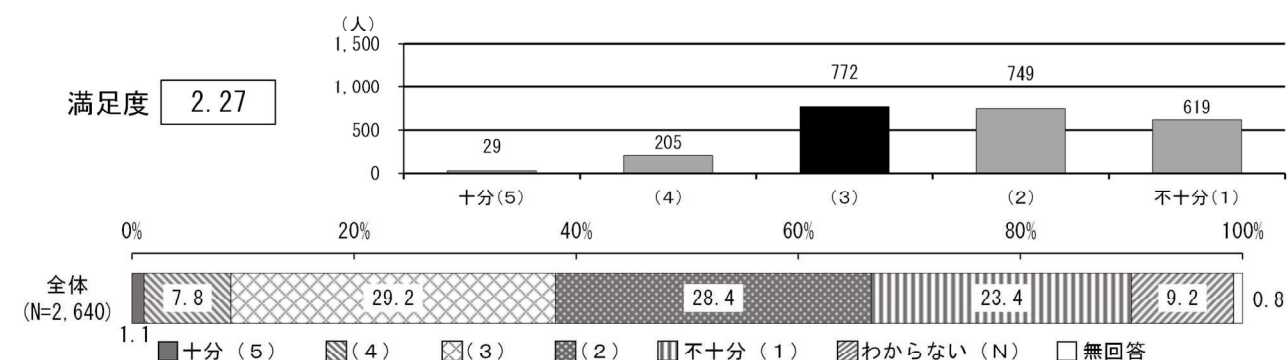
【年代別】



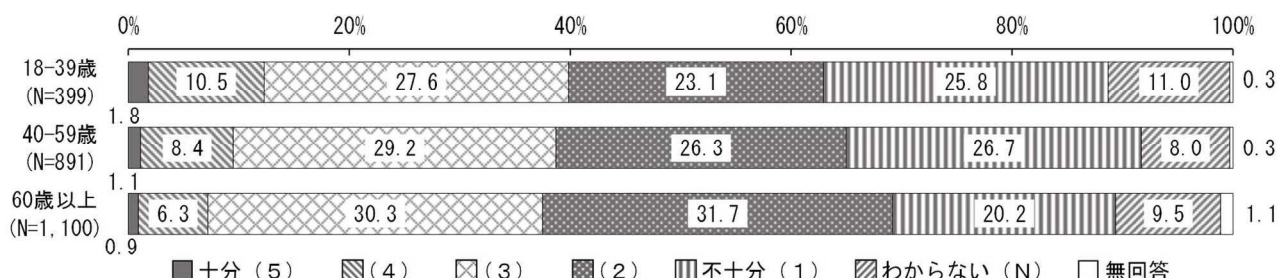
エ 安心して出産できる環境づくり

問 1-4 安心して出産・子育てできる環境づくりが進んでいる

満足度の状況



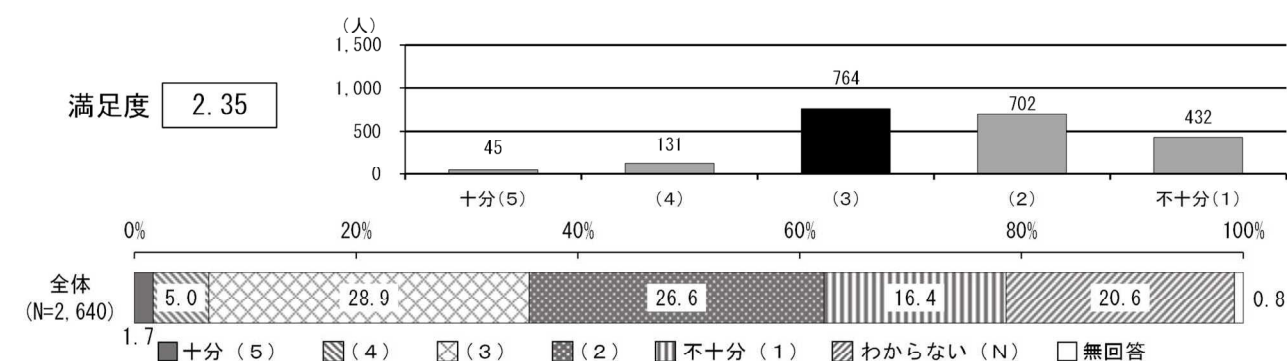
【年代別】



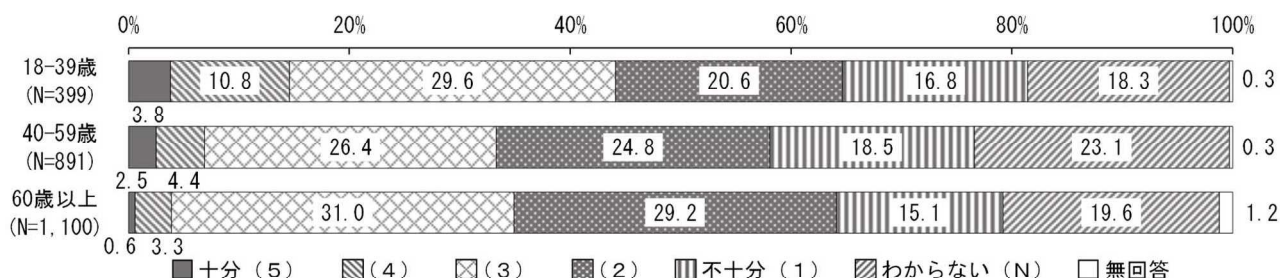
オ 多様性に満ちた社会づくり

問 1-5 多様性が尊重される地域社会づくりが進んでいる

満足度の状況



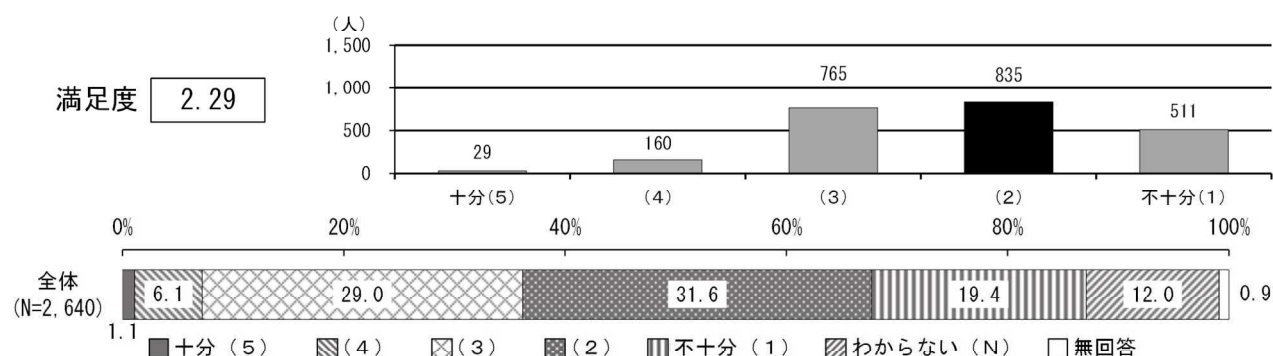
【年代別】



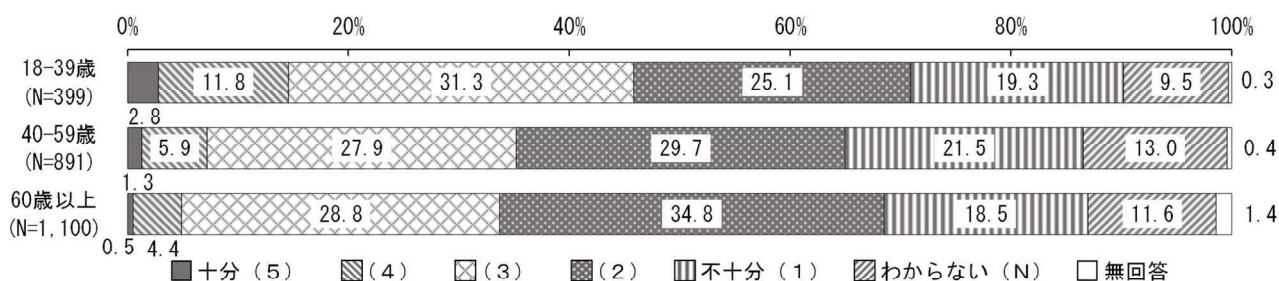
力 若者・女性が自分らしさを発揮できる環境づくり

問 1-6 女性や若者が自分らしく活躍できる環境づくりが進んでいる

満足度の状況



【年代別】



政策 1 未来づくりに関する意見

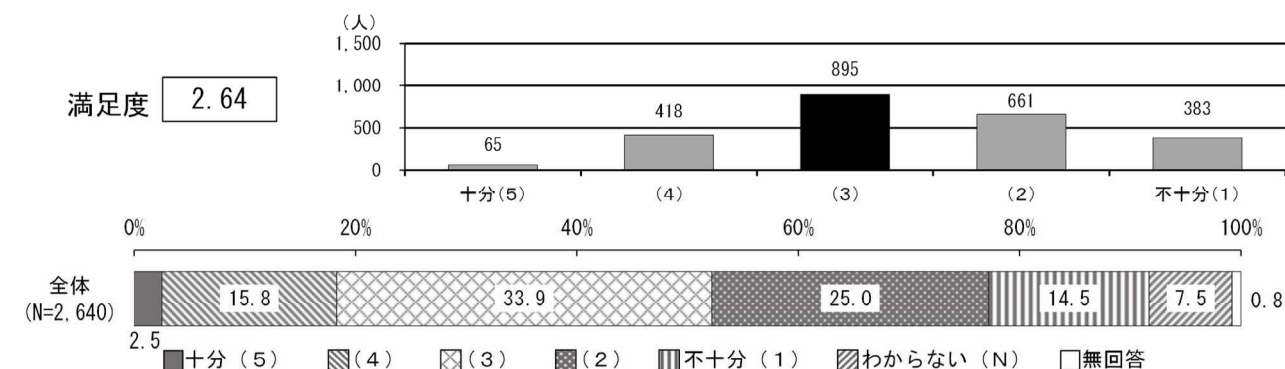
- ・ 県外の大学等に進学した若者たちは、そのまま県外の企業に就職してしまうことが多いように感じる。適性に応じた多様な職場が県内にもあることを高校までの段階で気付かせる機会が必要。(男性／70歳以上／秋田地域)
- ・ 魅力的な仕事が少ないため、移住や若者の就職は厳しい。(男性／30歳代／山本地域)
- ・ 故郷で就職し永住するためには、選べる職や十分な所得が必要だが、不足している。子育て支援や様々な援助は充実していると思う。(女性／40歳代／山本地域)
- ・ 安心して出産・子育てするために必要な産婦人科、小児科が不足している。特に、主要な市以外での不足が顕著である。(男性／60歳代／仙北地域)
- ・ ニュース番組などで若者が活躍している様子を見る機会が多くとても希望を感じる一方、実際の地域社会は古い慣習に対して意見できない特有の空気を感じるが多い。(女性／30歳代／秋田地域)
- ・ 若い世代が安心して暮らせる環境を整えつつ高齢者が増加していく未来も作らなければならないと思う。高齢者とこども、共に安心して暮らせる未来づくりであってほしい。(女性／50歳代／秋田地域)

(2) 政策2 観光・交流に関する項目

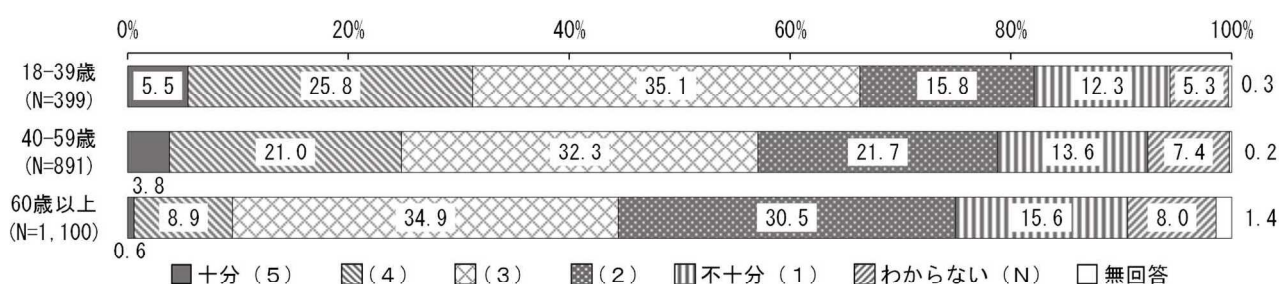
ア 「心が動くあきたの観光」の実現

問 1-7 四季の魅力を活かし国内外からの観光誘客が進んでいる

満足度の状況



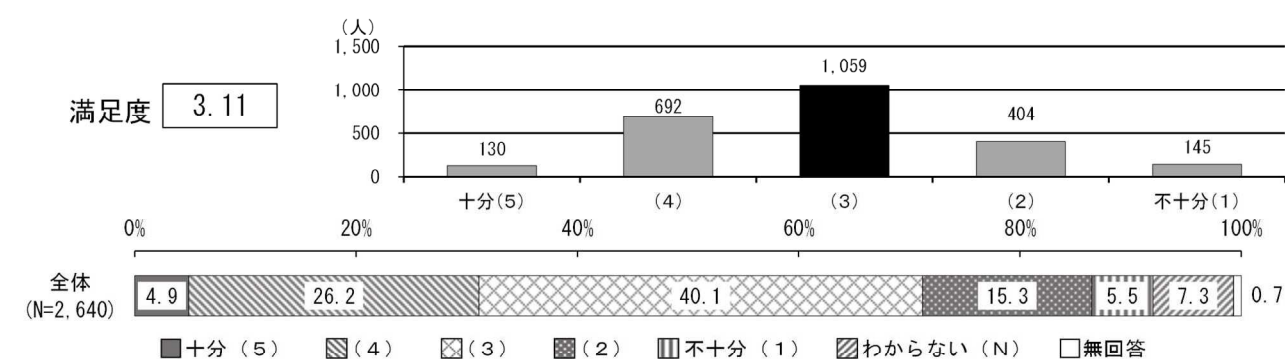
【年代別】



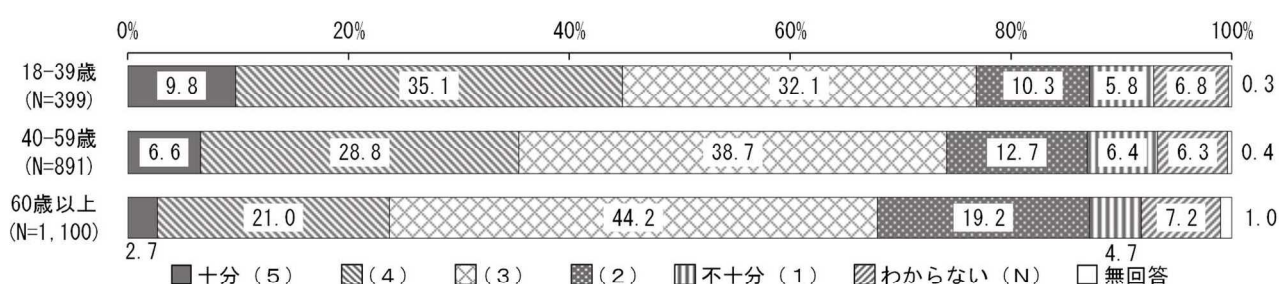
イ 「食」のブランド化と輸出を含めた販路開拓の強化

問 1-8 日本酒や発酵食品など「あきたの食」のブランド化と販路拡大が進んでいる

満足度の状況



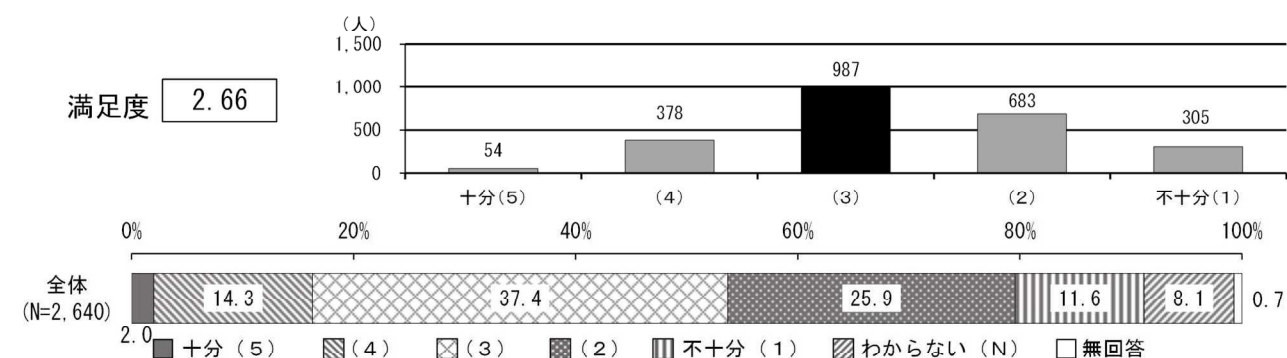
【年代別】



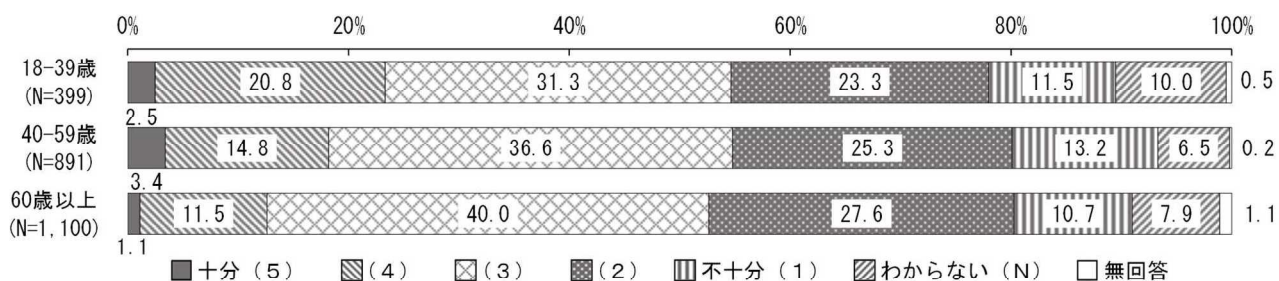
ウ スポーツを通じた地域づくりと交流人口・関係人口の拡大

問 1-9 スポーツを通じて地域に誇りと賑わいがもたらされている

満足度の状況



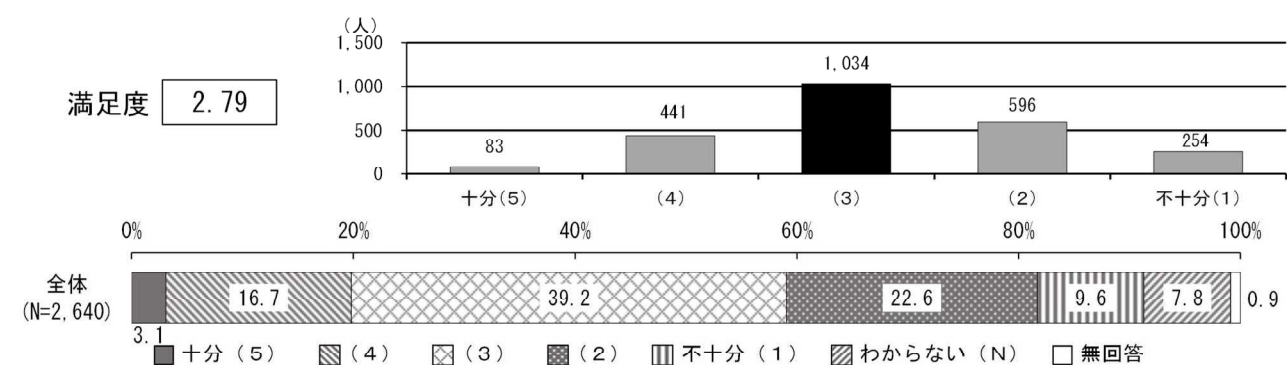
【年代別】



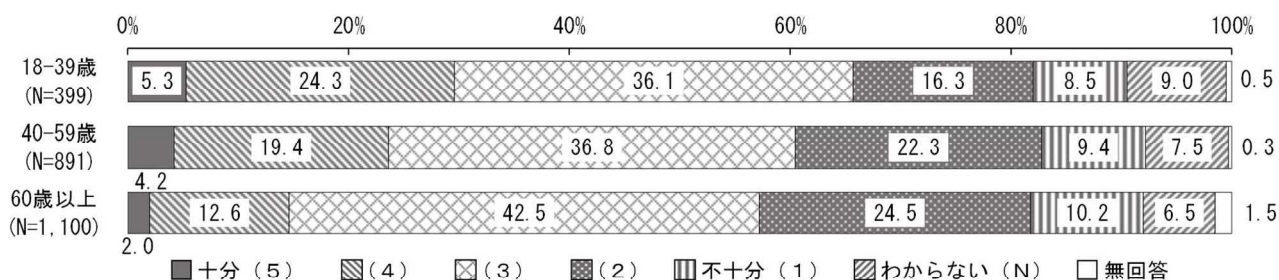
エ 文化芸術が紡ぐ彩り豊かな秋田の創出

問 1-10 県民が文化芸術に親しむことのできる環境が整備されている

満足度の状況



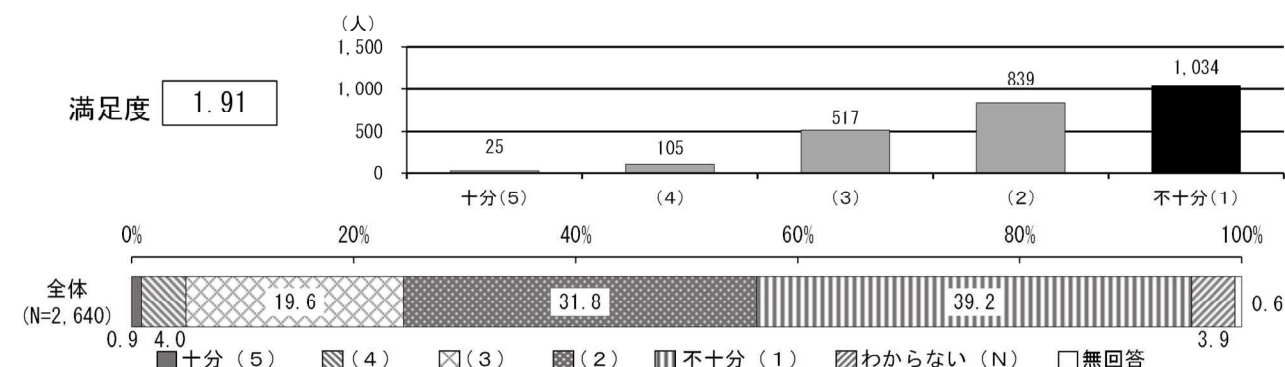
【年代別】



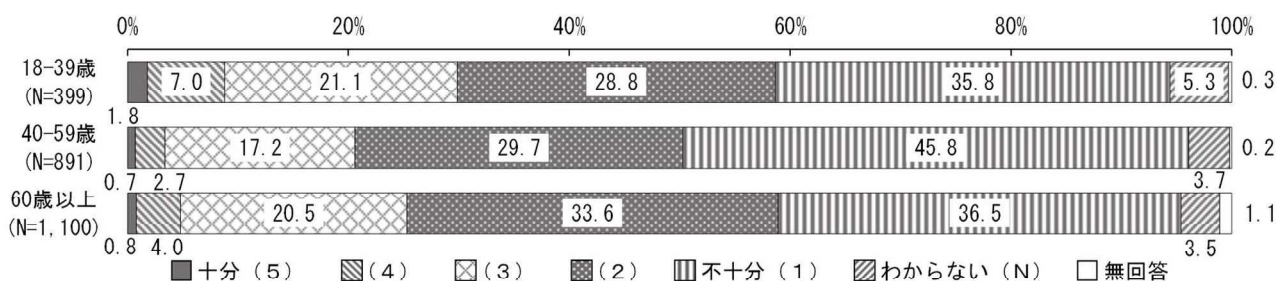
オ 住民が利用しやすい地域公共交通ネットワークの形成

問 1-11 バスや地域鉄道など日常生活を支える地域公共交通の維持・活性化が図られている。

満足度の状況



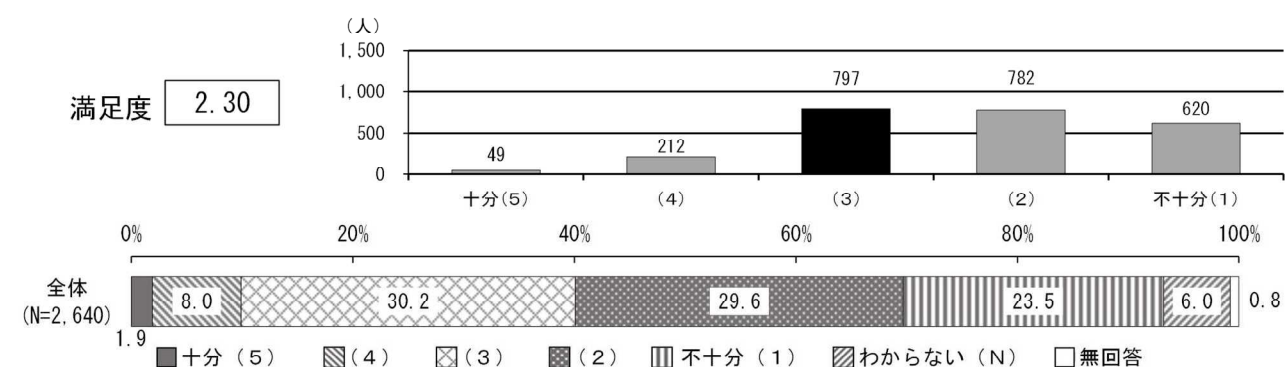
【年代別】



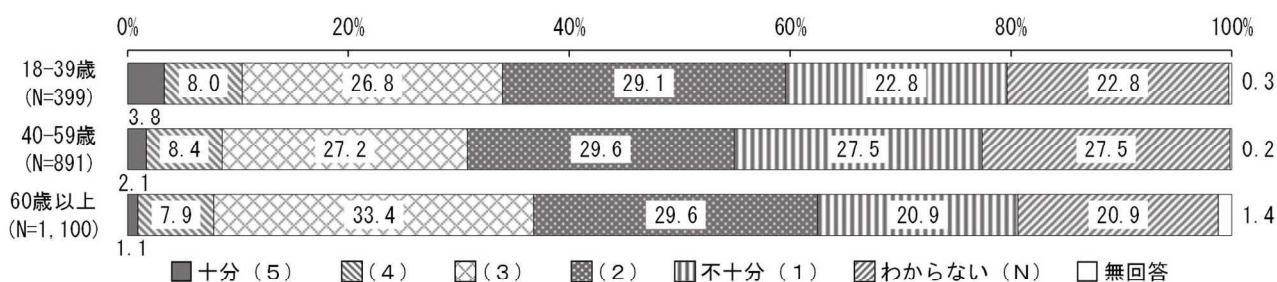
カ 幹線鉄道の整備の促進、フェリー航路・航空路線の維持・拡充

問 1-12 幹線鉄道や航空など県内外との交流を支える広域交通網の整備が進んでいる

満足度の状況



【年代別】



政策2 観光・交流に関する意見

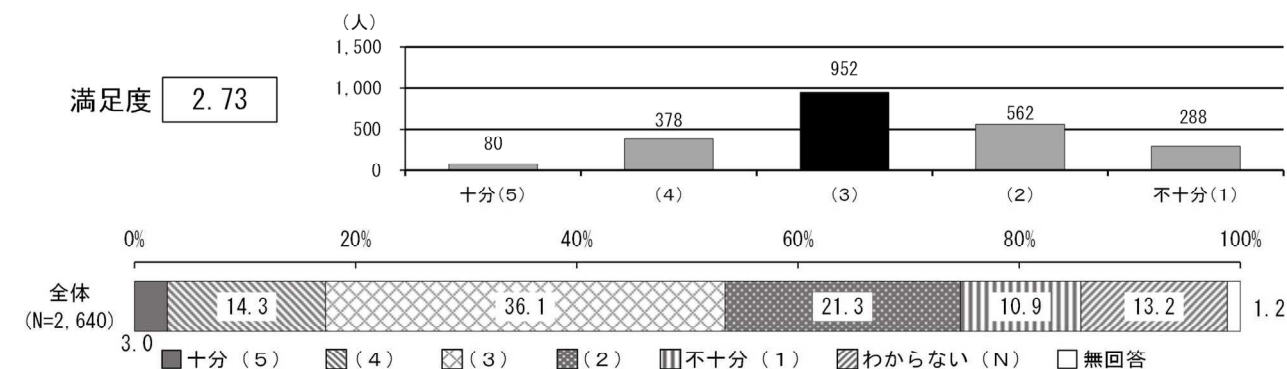
- 素敵な観光地はあるが、一つ一つが離れているため、観光ルートを考えにくい。(女性／50 歳代／秋田地域)
- 宿泊施設が少ないため県外から観光客を呼ぶ態勢が不十分。現代の宿泊スタイルにあった個人や少人数向けの宿を増やすべき。(男性／30 歳代／仙北地域)
- 「あきたの食」について、ポテンシャルはあると思うが、流通量が少ないことが課題であるほか、ブランディング面において隣県に大きく水をあけられている。事例研究が必要。(男性／40 歳代／秋田地域)
- スタジアム建設について、県民の心がスポーツを通じて一つにまとまっていく可能性が大きいと思う。(女性／70 歳以上／秋田地域)
- 県が主催する文学賞、秋田を舞台にした演劇のシナリオ賞や映画を作ってほしい。(女性／40 歳代／秋田地域)
- 公共交通の整備が全く進んでいないと感じる。車がないと行動できず、高齢になった際に移動手段があるのかと不安を感じる。(女性／60 歳代／秋田地域)

(3) 政策3 農林水産に関する項目

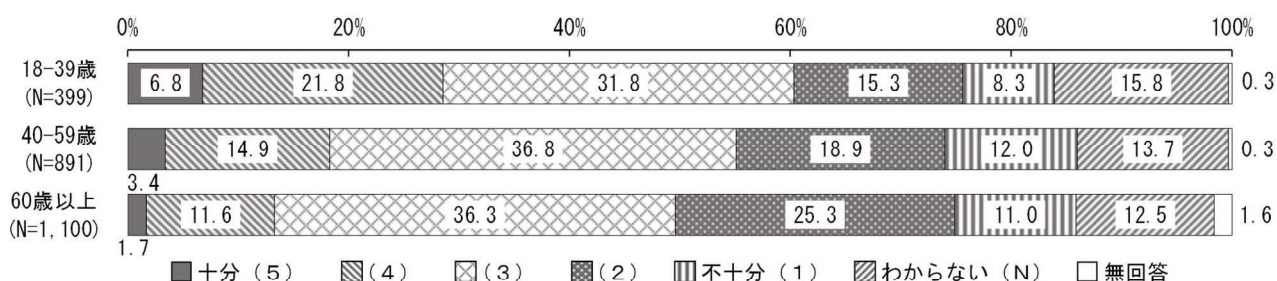
ア 日本の食を支える農業の実現

問 1-13 収益性の高い持続可能な農業の実現により、日本の食を支えている

満足度の状況



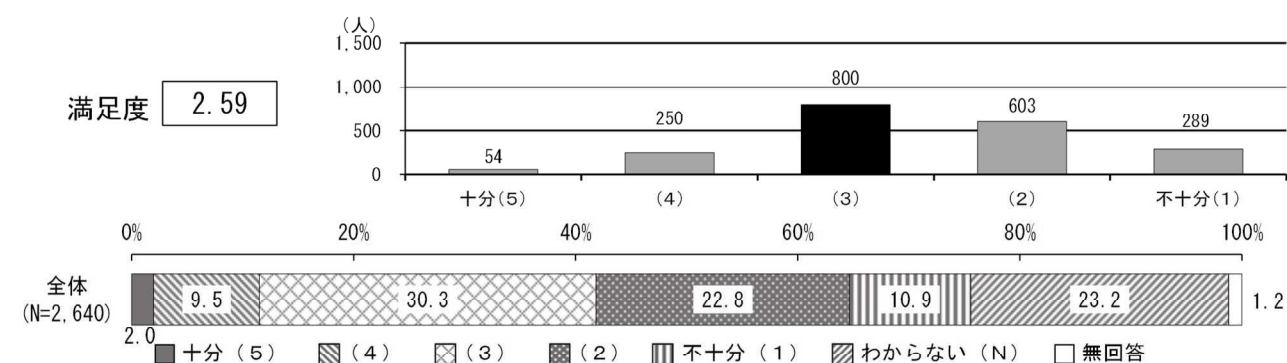
【年代別】



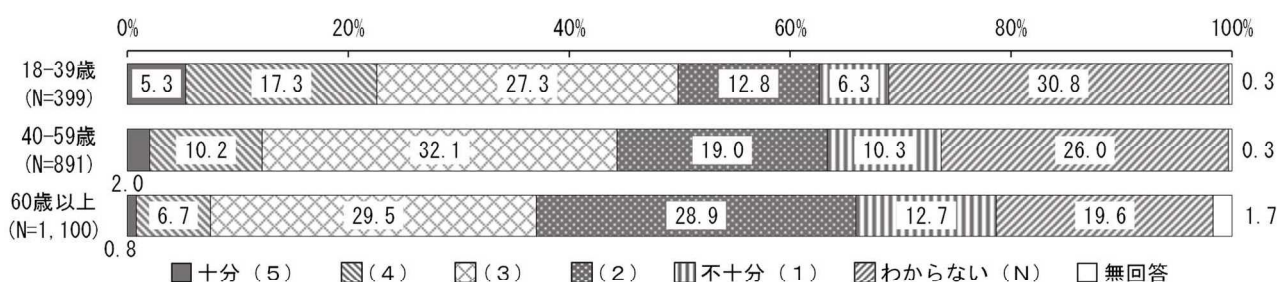
イ 森の恵みを未来へつなぐ林業・木材産業の実現

問 1-14 森林資源の循環利用が進み、林業・木材産業が発展している

満足度の状況



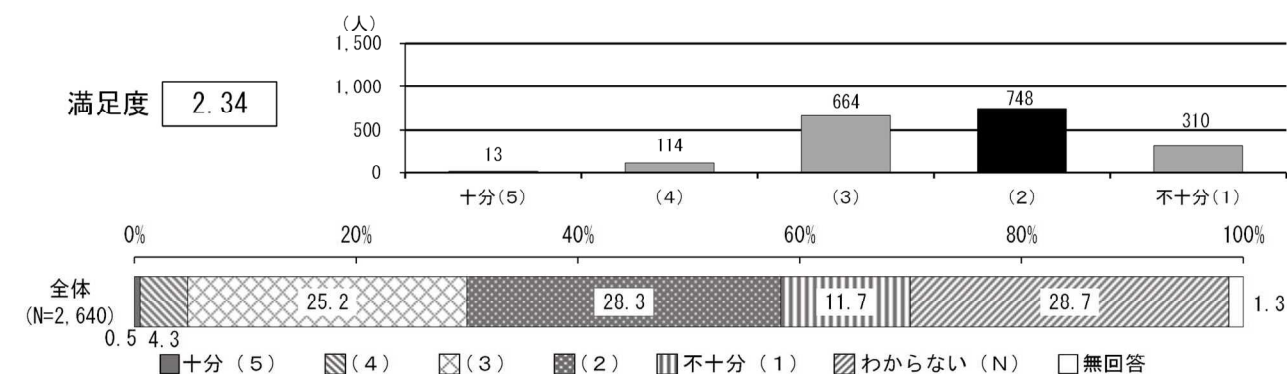
【年代別】



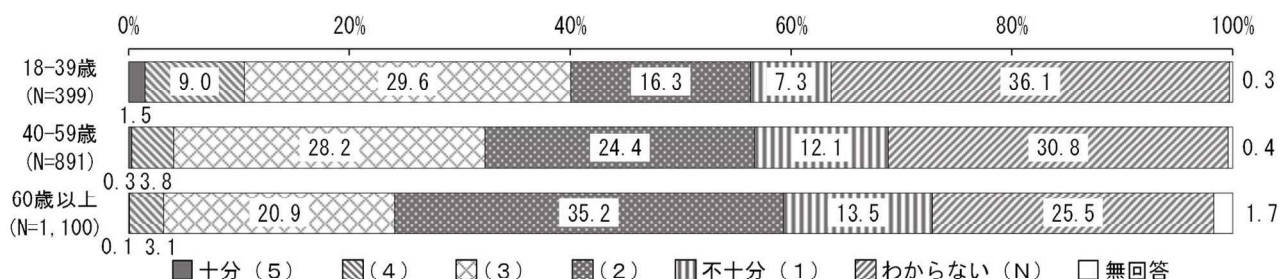
ウ 環境変化に対応した新たな水産業の実現

問 1-15 海洋環境の変化に対応するための新たな取組により、持続可能な水産業が
発展している

満足度の状況



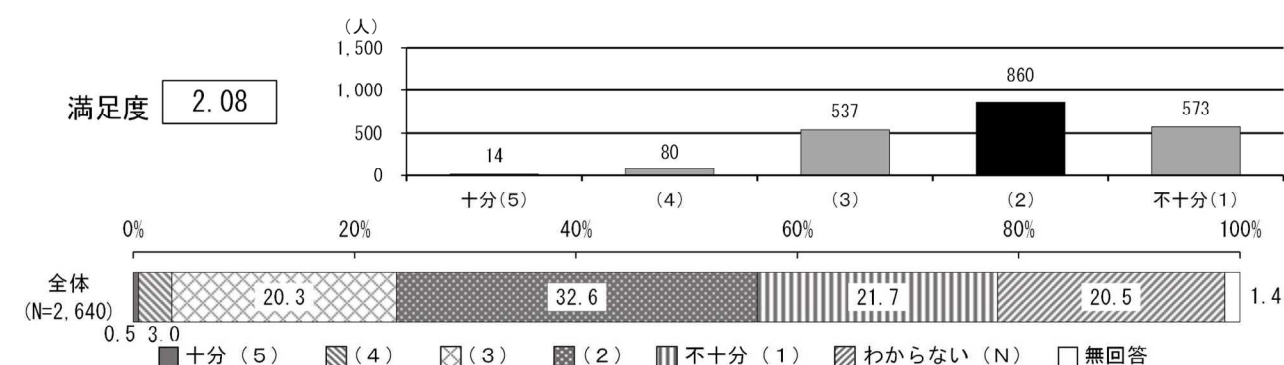
【年代別】



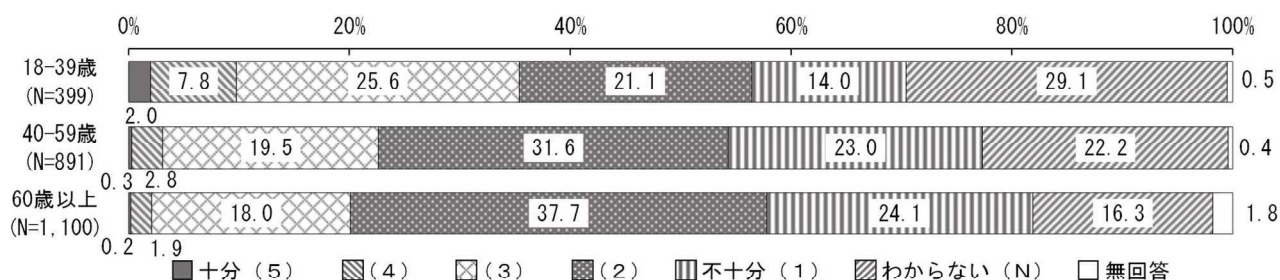
エ 活力あふれる明るい農山漁村の実現

問 1-16 地域資源の活用等を通じて、農山漁村が活性化している

満足度の状況



【年代別】



政策3 農林水産に関する意見

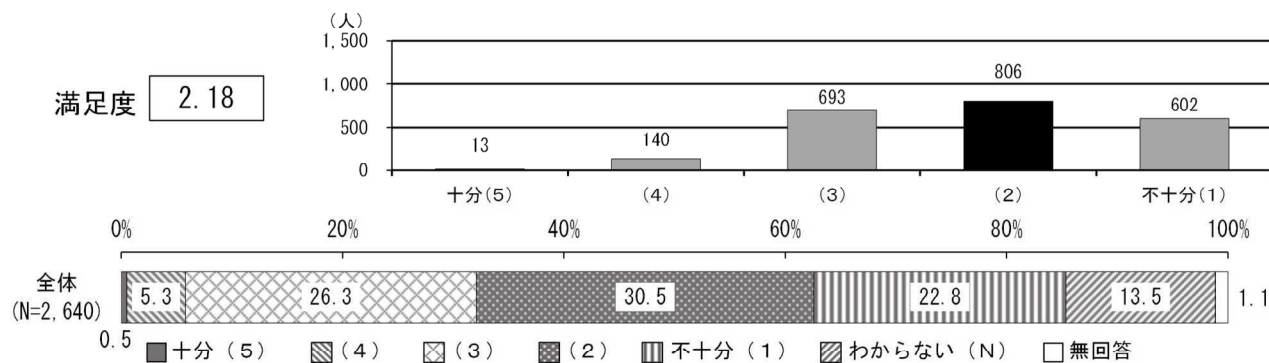
- 農産物について、高いポテンシャルがあるにもかかわらず、魅力発信が足りていないのは非常に残念。単に「美味しい」に甘んじるのではなく、他県に負けない戦略的なブランド構築と発信に注力していただきたい。（男性／30 歳代／秋田地域）
- 秋田には農林水産物の加工場が少ないと思う。各資源の付加価値を高め、高収益につなげる事が重要。（男性／70 歳以上／秋田地域）
- 全国有数の森林資源を持ち、関わる産学官が充実しているので、最も伸び率の高い産業だと思っている。もっと注目されても良い。（男性／70 歳以上／秋田地域）
- 環境の変化で漁業が厳しい状況にある中、採れる魚をブランド化するか、もっと養殖に力を入れていく事も必要なのではないか。（女性／50 歳代／仙北地域）
- 後継者不足が深刻なこの分野において、若い人たちが安心して参入できる安定した基盤づくり、例えば法人化や企業化組織として取り組むことができる産業構造への後押しが必要ではないか。（男性／60 歳代／秋田地域）
- 農業を一から始めたいと思っている若い人への情報発信が必要。聞かないと教えてくれないでは困る。（女性／50 歳代／由利地域）

(4) 政策4 産業に関する項目

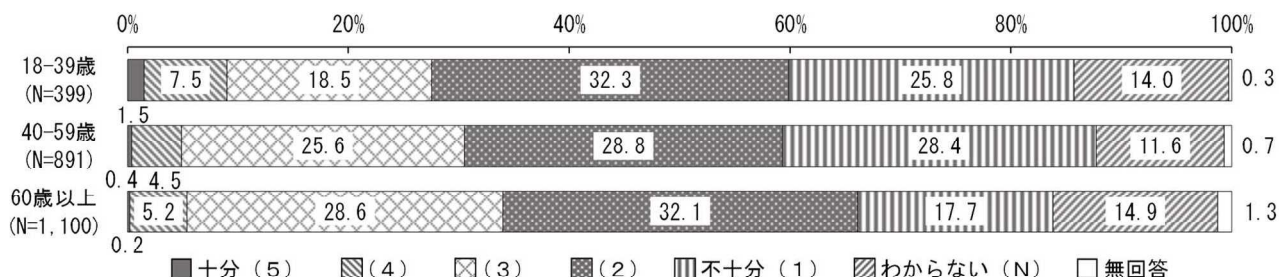
ア 「人への投資」と経営革新による中小企業の経営基盤の強化

問 1-17 人材育成や経営革新など県内企業の経営基盤の強化と賃金水準の向上に向けた取組が進んでいる

満足度の状況



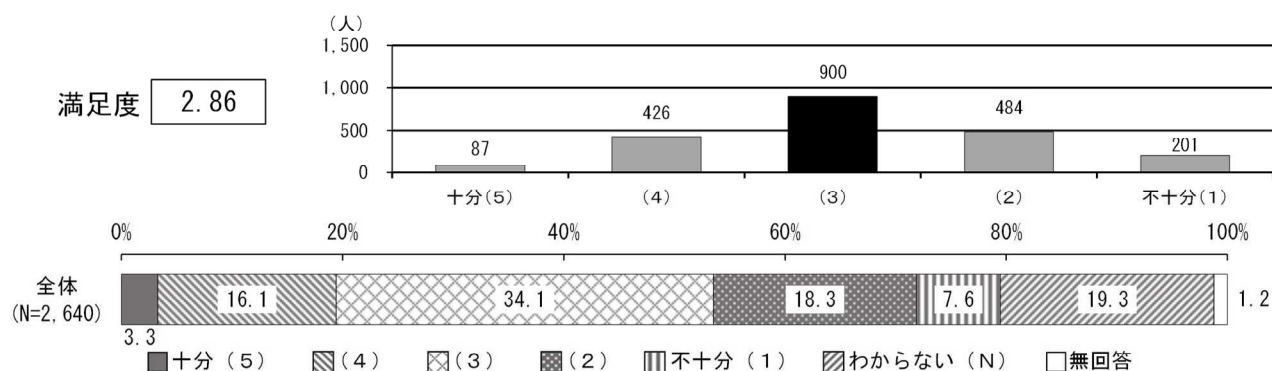
【年代別】



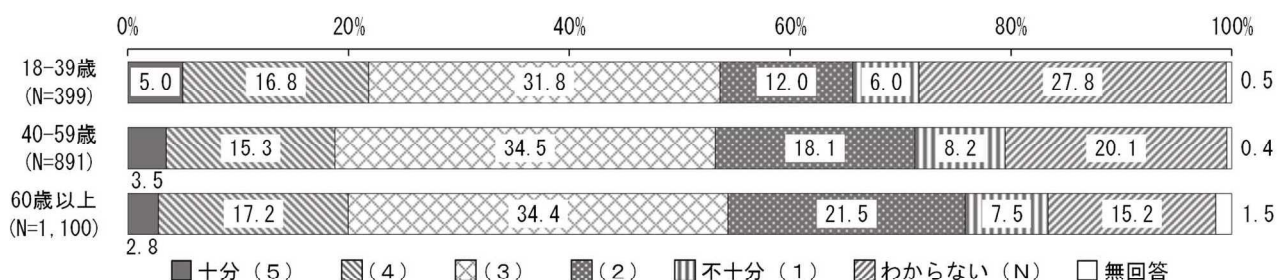
イ 再生可能エネルギーの導入拡大

問 1-18 再生可能エネルギーの導入が拡大している

満足度の状況



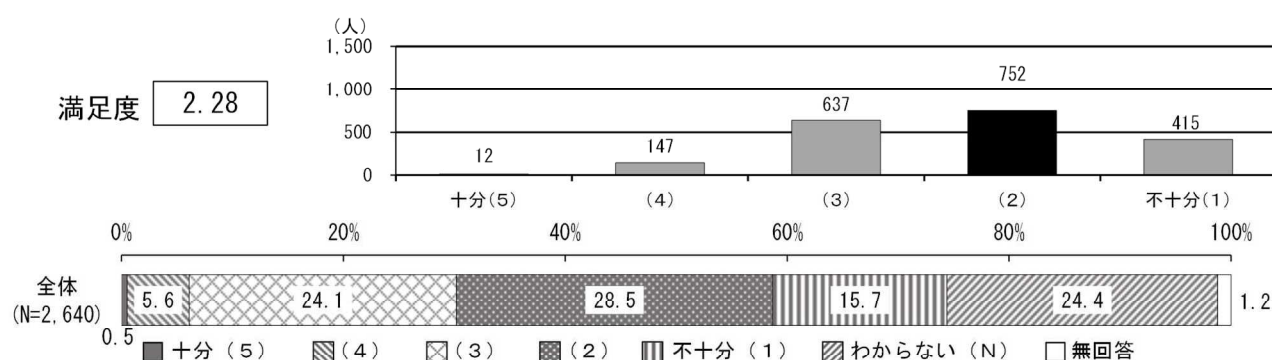
【年代別】



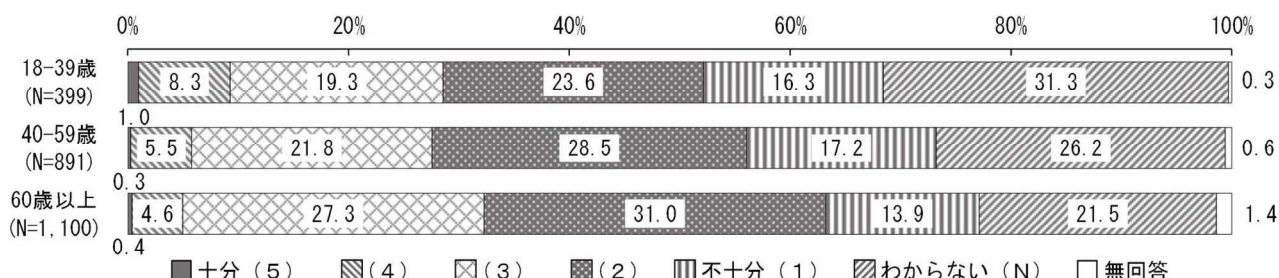
ウ 成長産業への県内企業の参入促進

問 1-19 成長産業への県内企業の参入が進んでいる

満足度の状況



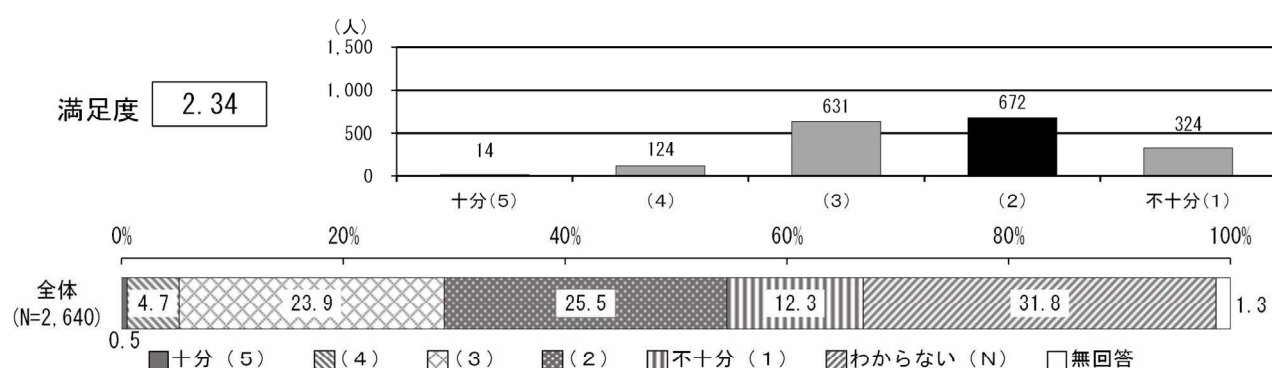
【年代別】



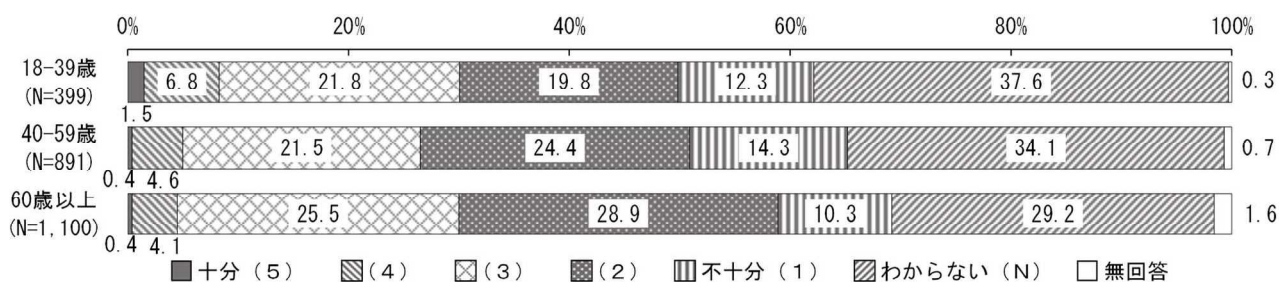
エ 県内企業の技術開発力の強化、イノベーション人材の育成

問 1-20 技術開発力の強化など県内企業によるイノベーションが進んでいる

満足度の状況



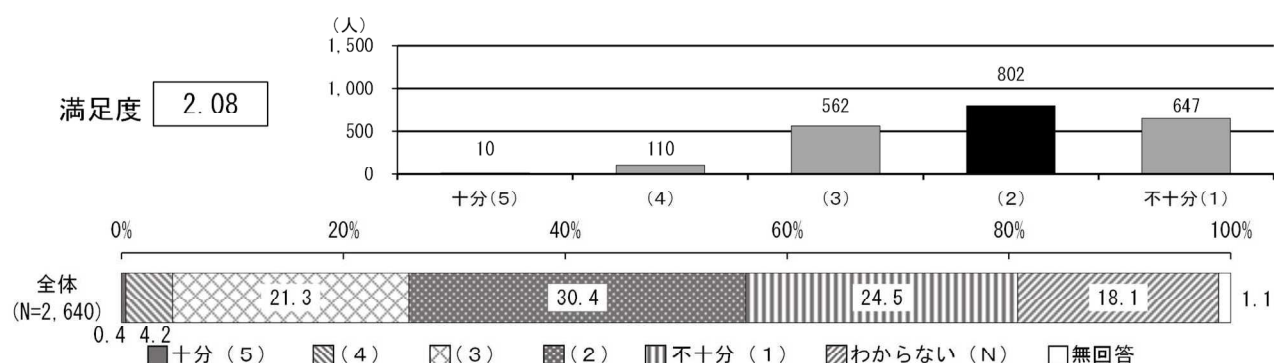
【年代別】



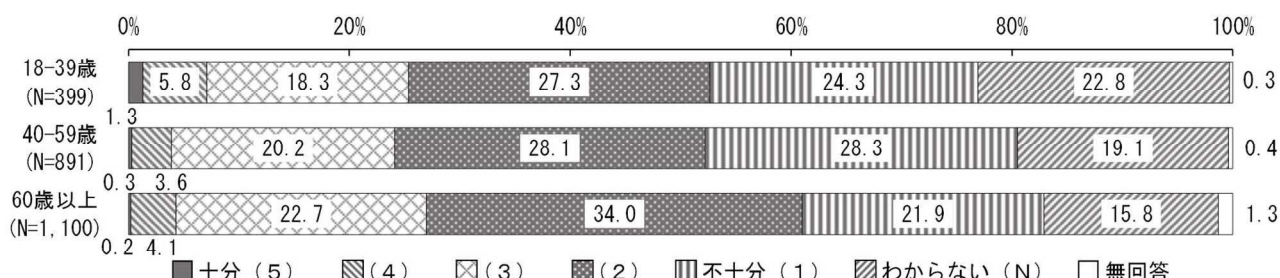
オ 県外からの人材流入や若者定着につながる戦略的な誘致の推進

問 1-21 人材の流入・定着につながる企業誘致や産業集積が進んでいる

満足度の状況



【年代別】



政策 4 産業に関する意見

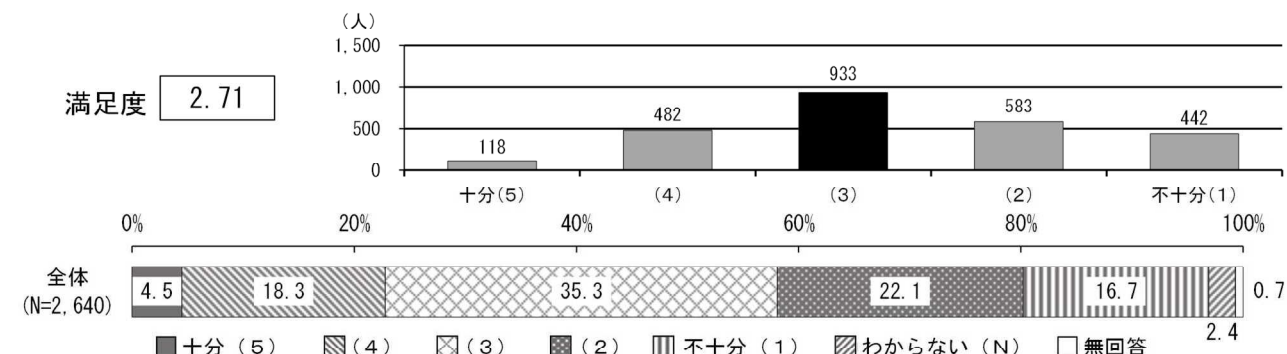
- 今の I T やデジタル分野において、スローな製品開発では世界についていけない。オープンイノベーションや企業間連携を推進する取組が必要なのではないか。(男性／60 歳代／秋田地域)
- 大胆な賃金向上策や企業誘致がないと人口減少は止まらない。(男性／60 歳代／山本地域)
- 科学技術が発達しているはずの日本で、風力発電設備のほとんどが海外製品である。効率的で丈夫でメンテナンスしやすい「日本製」・「秋田県製品」の開発により産業の活性化を期待したい。(男性／70 歳以上／秋田地域)
- 先行投資できない、又は技術を守るための予算がない県内企業に対する支援が必要。(女性／50 歳／仙北地域)
- B C P の観点やデータセンター等、広大な土地を要する産業集積など、他県にはない特色ある誘致を行うべき。(男性／40 歳代／秋田地域)
- 大規模工場や設備でなくても小規模拠点の誘致が多くあってもよいと思う。(男性／40 歳代／仙北地域)

(5) 政策5 健康・医療・福祉に関する項目

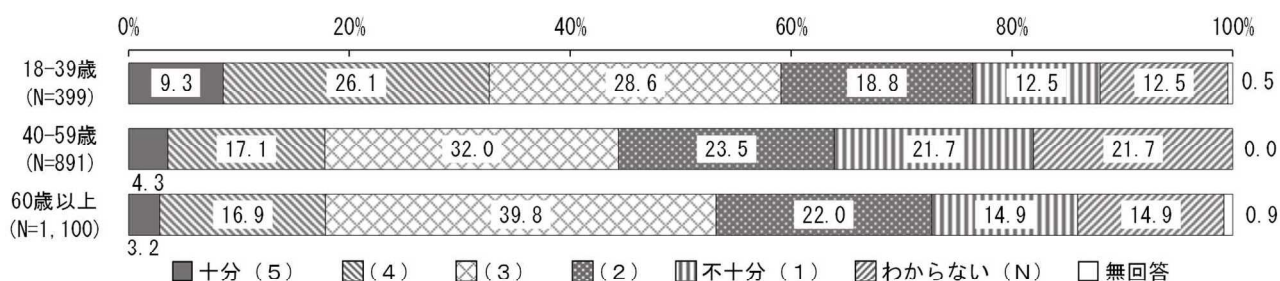
ア 人口減少社会においても持続可能な医療提供体制の確保

問 1-22 必要な医療を受けられる体制が整っている

満足度の状況



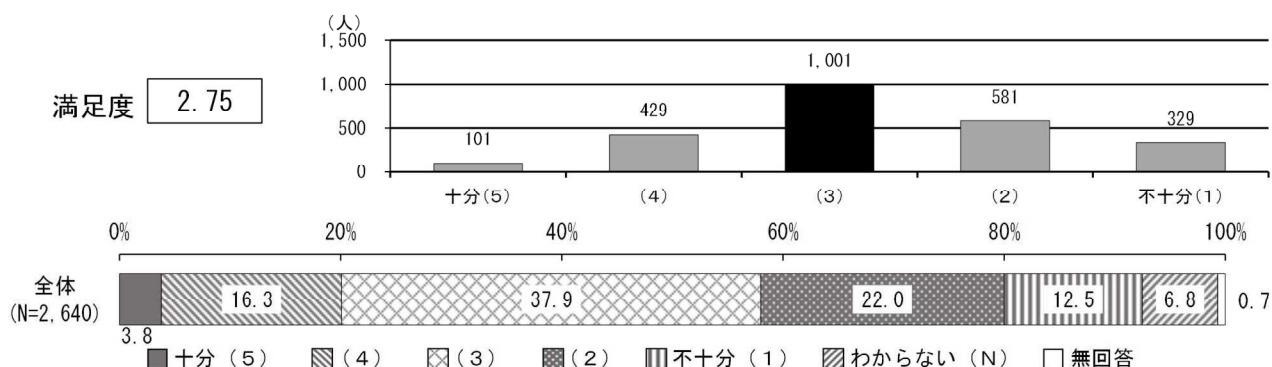
【年代別】



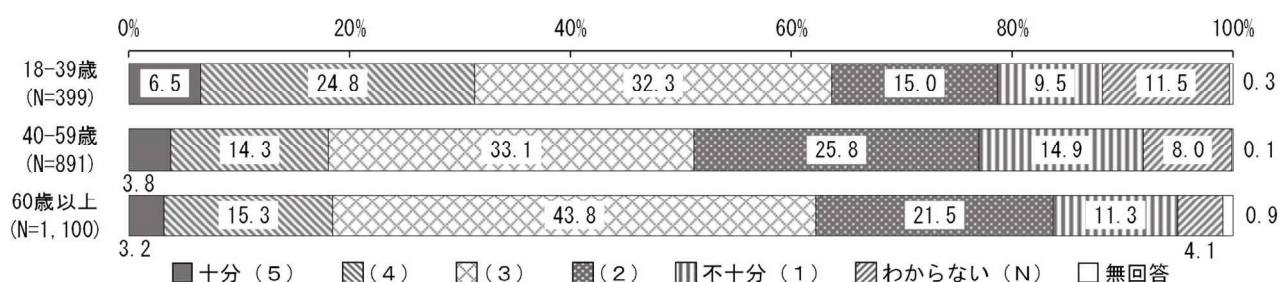
イ 医療と介護の連携による地域包括ケアシステムの拡充

問 1-23 高齢者や障害のある方が、必要なサービスや支援を受けながら、住み慣れた地域で安心して生活している

満足度の状況



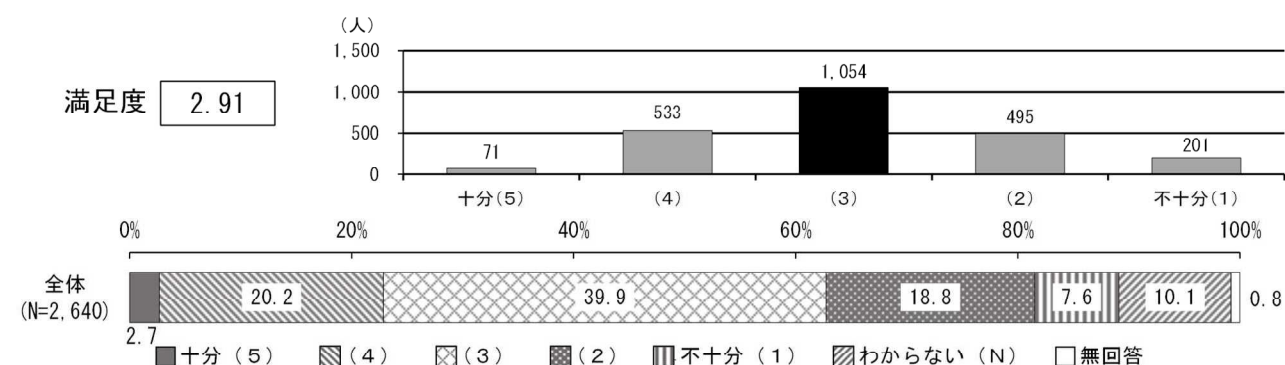
【年代別】



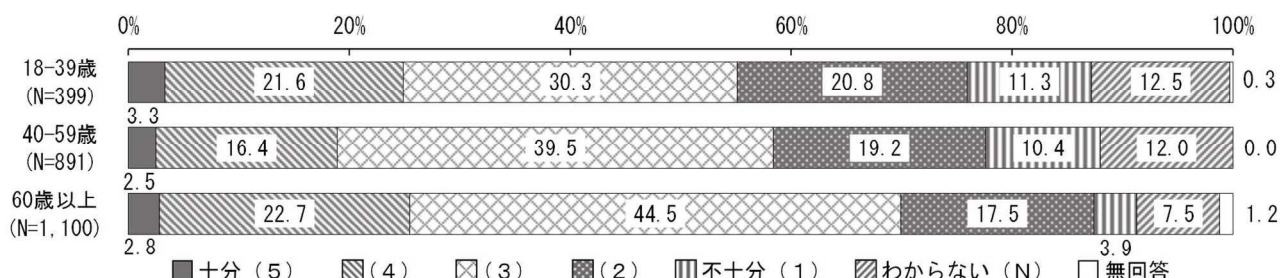
ウ 健康づくりを促す環境の充実

問 1-24 健康づくりに対する県民の意識が高まっている

満足度の状況



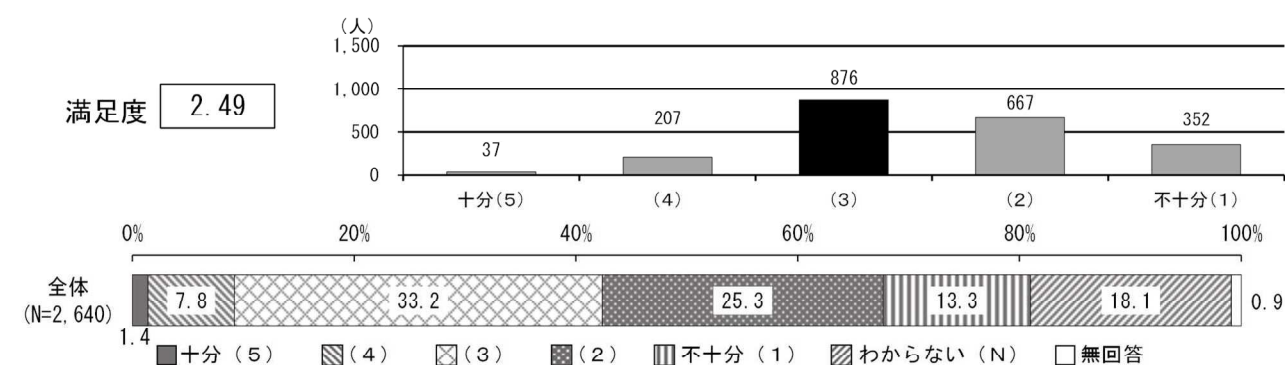
【年代別】



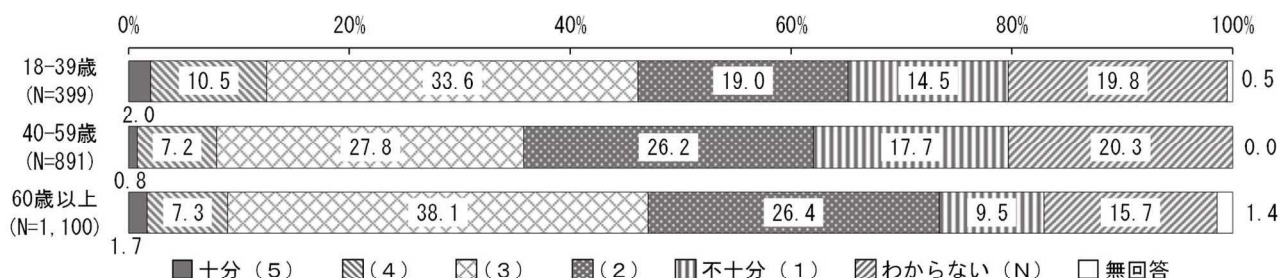
エ 障害や難病への正しい知識の普及と理解促進

問 1-25 障害や難病への県民の理解が進んでいる

満足度の状況



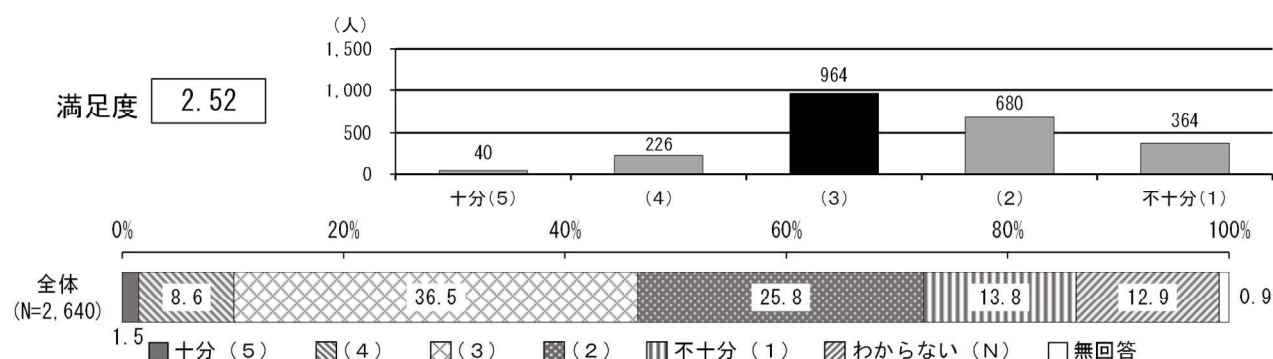
【年代別】



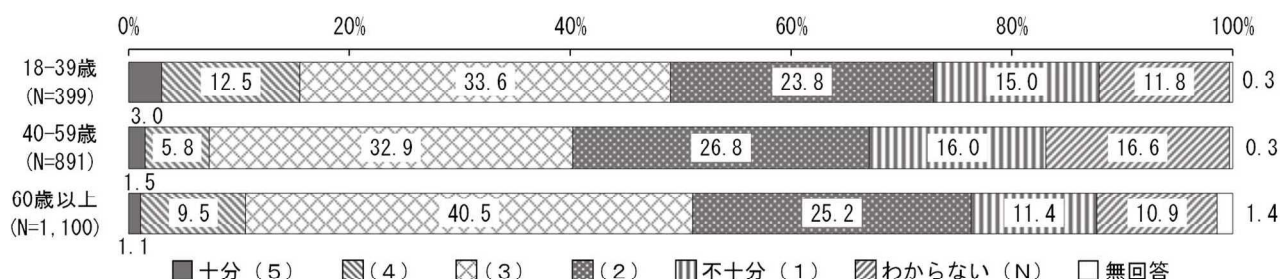
オ 複雑・多様化する社会課題に対応できる相談・支援体制の整備

問 1-26 相談体制や支援の充実により、地域や社会から孤立することなく、安心して生活できる社会づくりが進んでいる

満足度の状況



【年代別】



政策5 健康・医療・福祉に関する意見

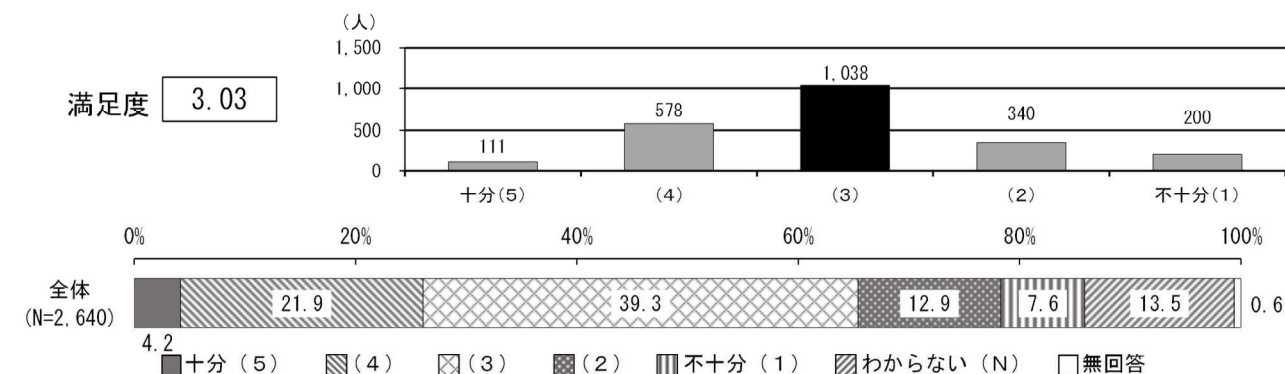
- ・高齢化に伴い医療に対するニーズが高まっている反面、地域における医療アクセスの低下、医師不足、無医村等の課題が深刻化している。オンライン診療や救急医療対策を優先してほしい。(男性/60歳代/秋田地域)
- ・高齢者の介護について、より速やかに、医療・福祉に橋渡しできるよう、相談を日頃から気軽にできる専門家の数を増やしてほしい。(人材育成と給与など待遇面の充実が必要)(女性/40歳代/秋田地域)
- ・市町村がそれぞれ健康づくりや予防に取り組んでいるが、特に高齢者は、その取組を知らない人が多い。(女性/70歳以上/仙北地域)
- ・ひとり暮らしの障害者が自宅で安心して暮らせるよう、福祉と医療の連携体制や相談体制を整えてほしい。(女性/40歳/秋田地域)
- ・ヤングケアラーや里親支援などに力を入れ始めたのは非常に好感が持てる。(女性/20歳代/秋田地域)
- ・自殺予防に成果が見られるのは官民が連携した結果だと思う。住民を巻き込むことがどの政策実施においても大切なことを示している好例ではないか。(男性/60歳代/平鹿地域)

（６）政策６ 教育・人づくりに関する項目

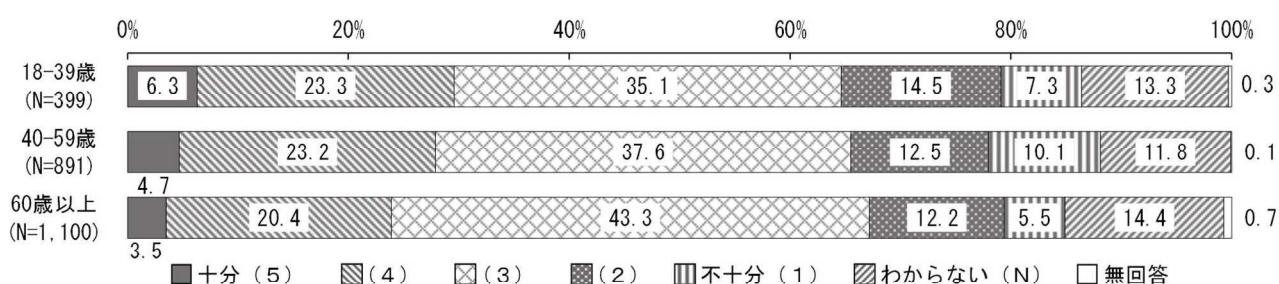
ア 全てのこどもの健やかな心身と自ら学ぶ意欲の育成

問 1-27 こどもが健やかに育ち、自ら学ぶ意欲を持てる教育環境が整備されている

満足度の状況



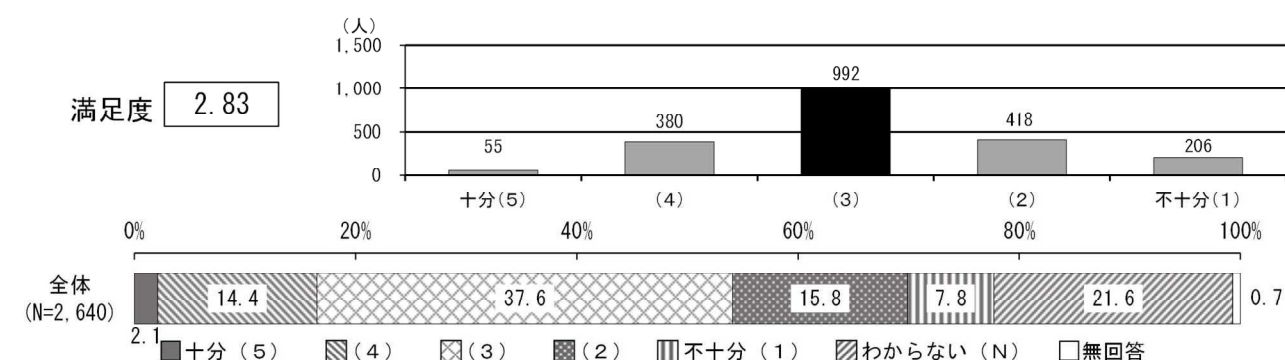
【年代別】



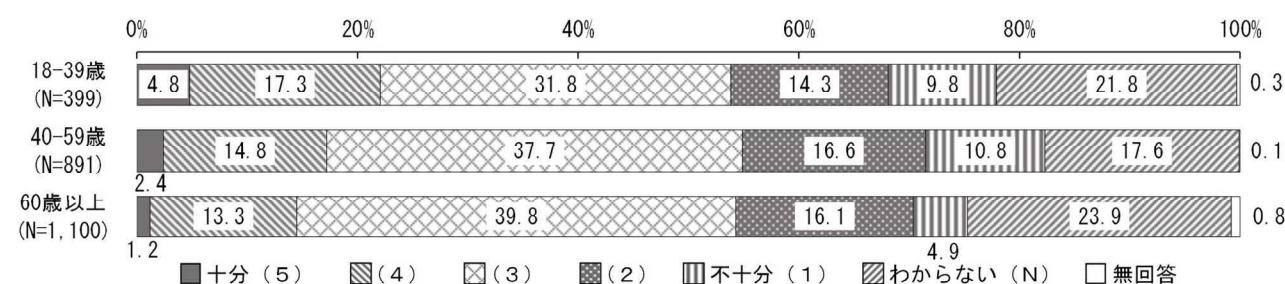
イ 新時代をたくましく生き抜く力の育成

問 1-28 キャリア教育やデジタル教育など、これからの時代をたくましく生き抜くための力が育てられている

満足度の状況



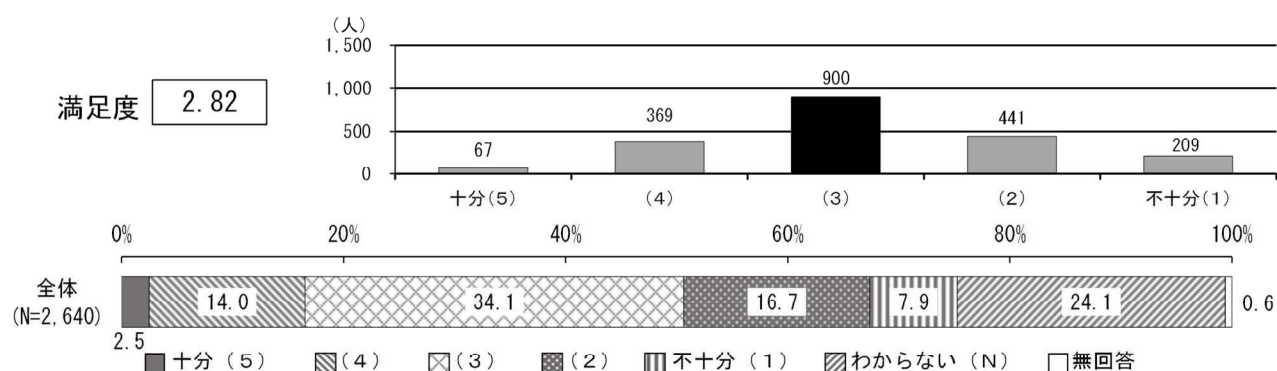
【年代別】



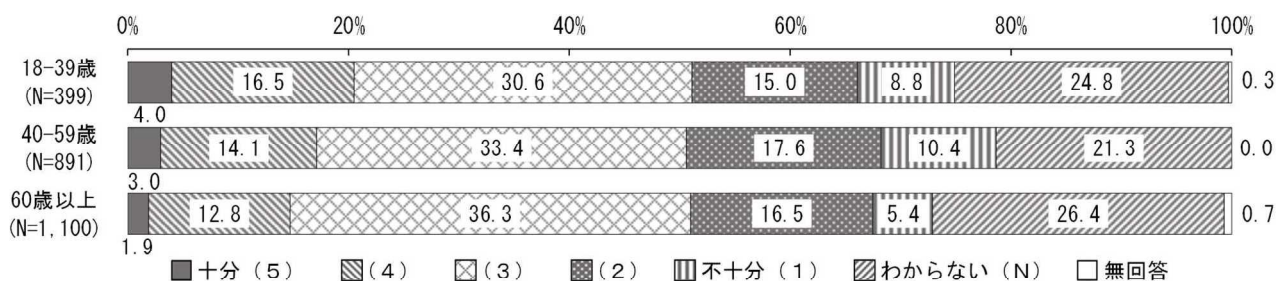
ウ 「こどもまんなか社会」を支える環境の整備

問 1-29 こども一人ひとりの教育的ニーズに応じた質の高い学びが提供されている

満足度の状況



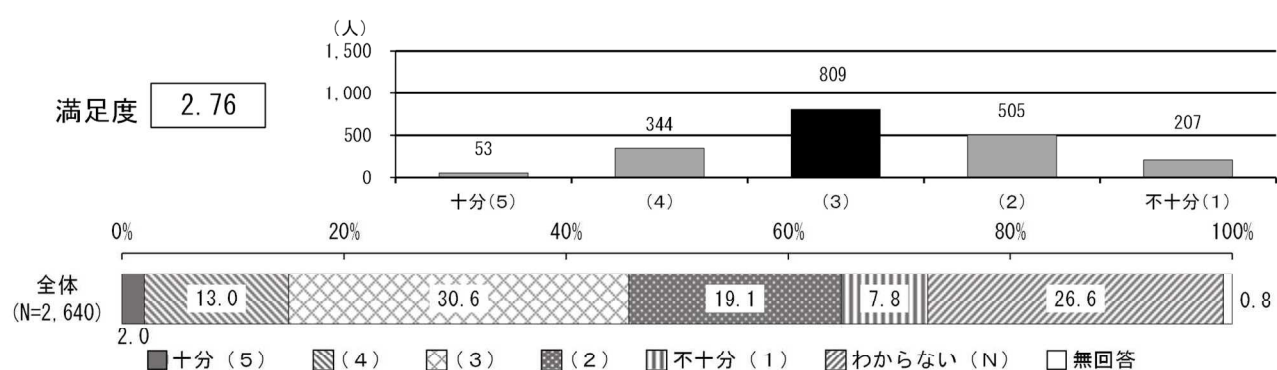
【年代別】



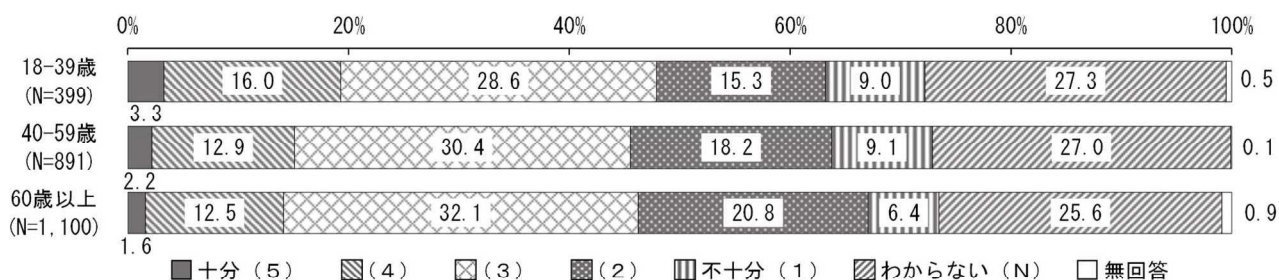
エ 地域社会の発展と産業振興に資する高等教育機関の活性化

問 1-30 県内の大学等による教育・研究を通じた地域貢献が進んでいる

満足度の状況



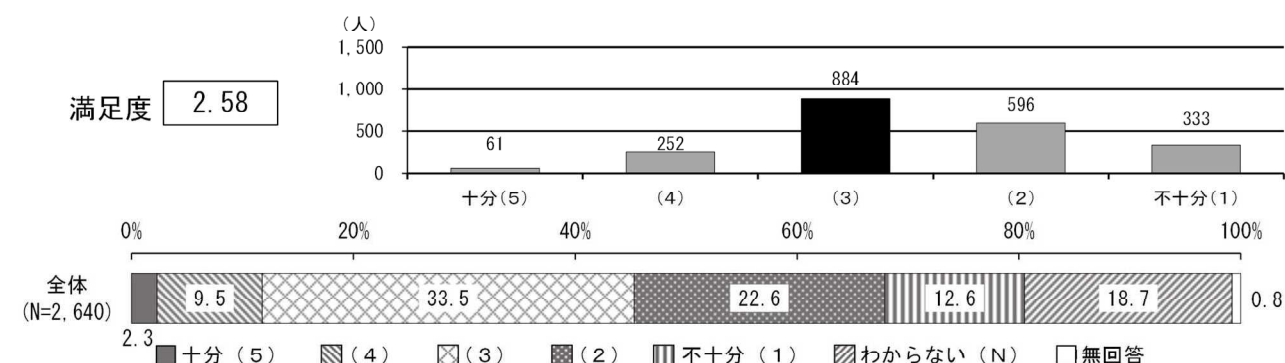
【年代別】



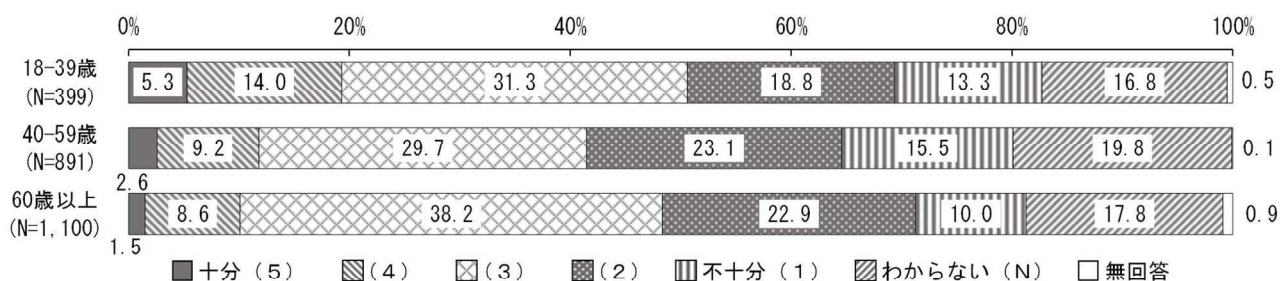
オ 誰もが生涯を通じて学び活躍できる環境の構築

問 1-31 県民誰もが生涯を通じて学ぶことのできる環境が整っている

満足度の状況



【年代別】



政策6 教育・人づくりに関する意見

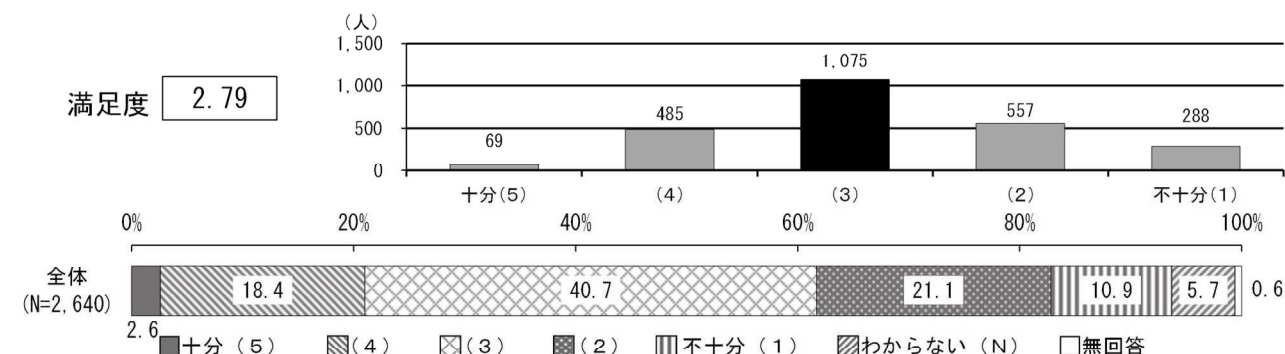
- 学力が高い県として上位を維持できていることは評価できる。学びに向かう力を育てるために、教育・保育一丸となって頑張っていると感じる。(女性/50歳代/北秋田地域)
- 教育に関して取組が進んでいると感じる。優秀な人材が育てられる一方で、秋田に留めおけない事が問題。(女性/50歳代/秋田地域)
- ネットリテラシーや投資、性についてなど、今の時代を生きるための教育にもっと力を入れても良いのではないかな。(女性/40歳代/秋田地域)
- 障害のある児童が分けられることなく教育を受けるインクルーシブ教育への理解が広がり深まってほしい。(女性/70歳代/秋田地域)
- 県内大学における実用化できる研究や環境調査に対する補助金や助成金制度を創設すれば、学生たちの向上心が上がると思う。(女性/70歳以上/北秋田地域)
- 生涯を通じて学ぶことのできる環境が地方まで行き渡っていない。(一/70歳以上/雄勝地域)

(7) 政策7 防災・減災・県土強靱化に関する項目

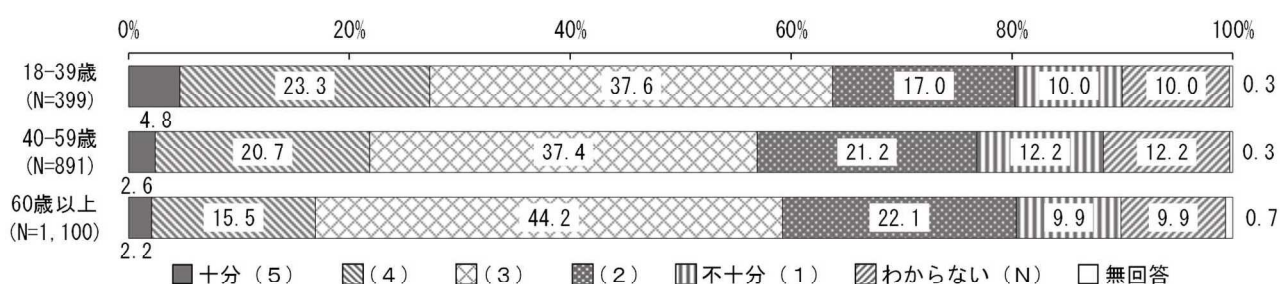
ア 気候変動等に対応した災害に強い地域社会の実現

問 1-32 大雨、地震等の自然災害への対策が進んでいる

満足度の状況



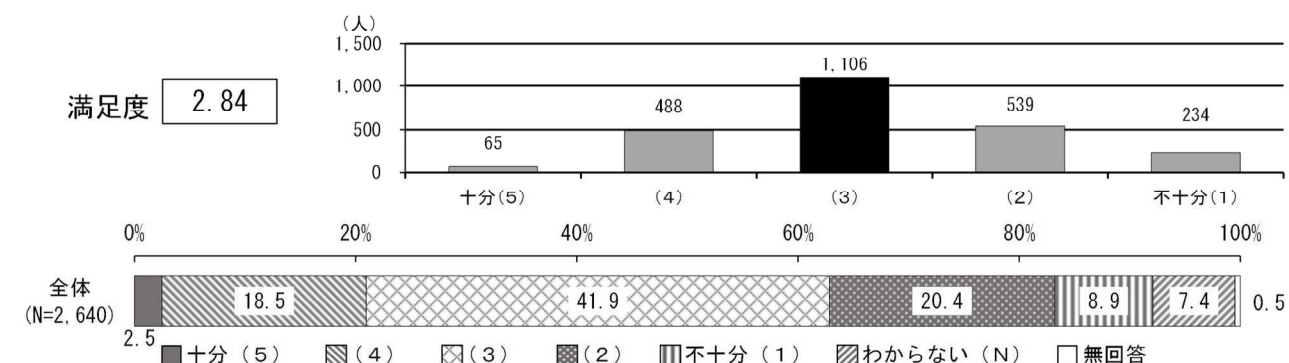
【年代別】



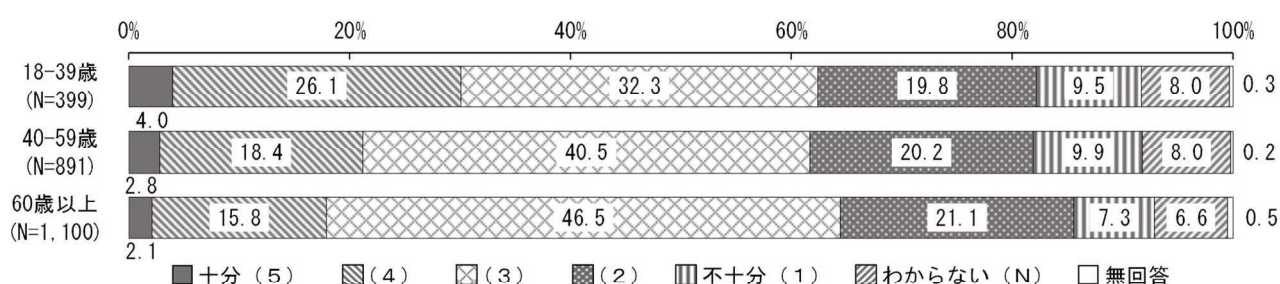
イ 自助・共助の促進による地域の防災力の強化

問 1-33 防災力の強化に向けた自助・共助の意識が高まっている

満足度の状況



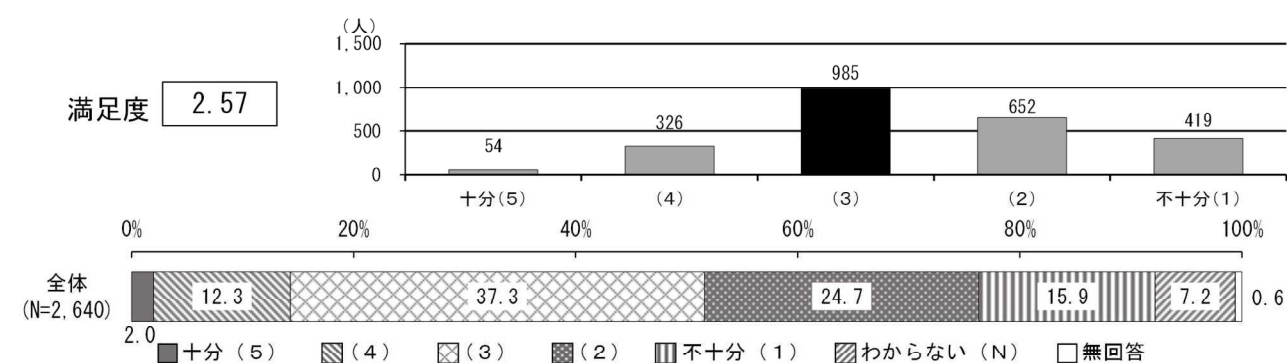
【年代別】



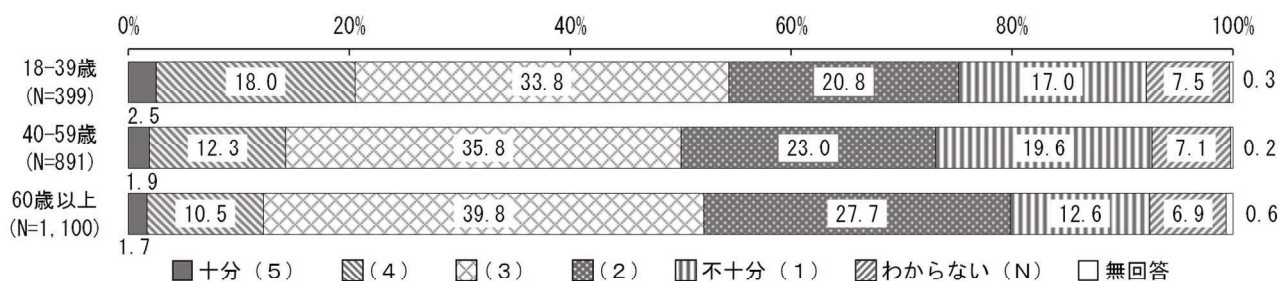
ウ 社会経済活動を支えるインフラの強化

問 1-34 社会経済活動を支える道路等のインフラの整備が進んでいる

満足度の状況



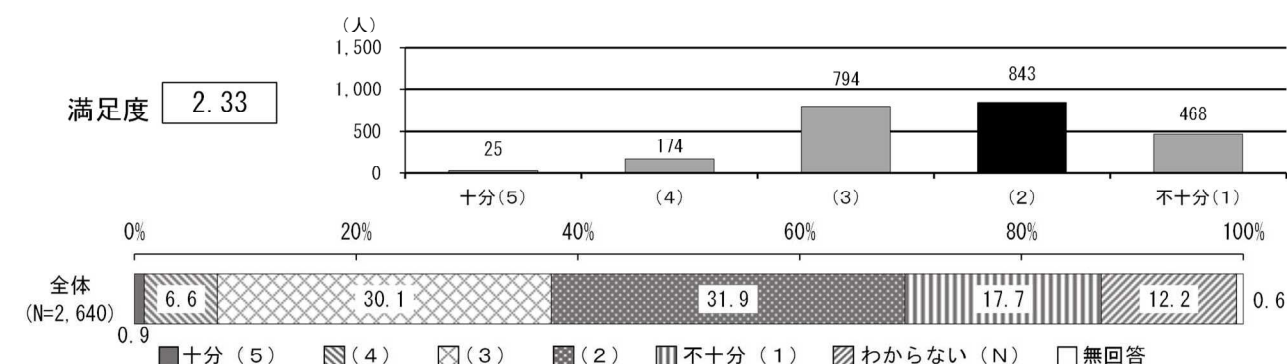
【年代別】



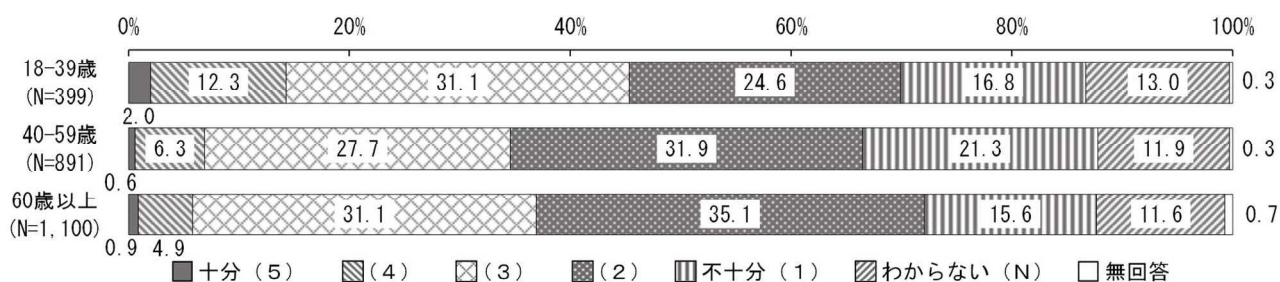
エ 持続可能なインフラマネジメントの実現

問 1-35 インフラの老朽化への対応などインフラの適切な維持管理が進められている

満足度の状況



【年代別】



政策7 防災・減災・県土強靱化に関する意見

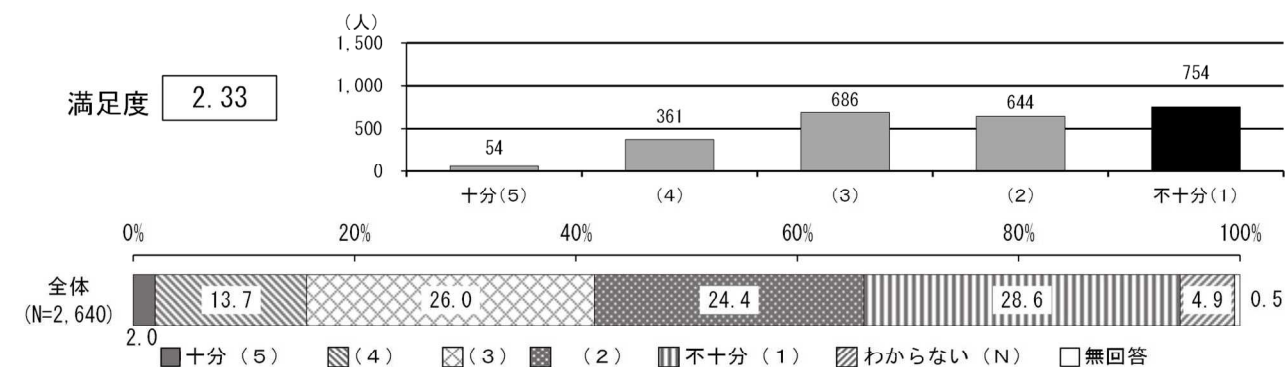
- 災害を受けた地域への対策は強化されているが、それ以外の地域での災害予防が不足していると思う。(女性／50 歳代／由利地域)
- 自治会が廃れていく中、共助のイメージがつかない。また、自然災害のない地域では、自治体職員、住民ともに危機感が薄く、不安。(女性／30 歳代／鹿角地域)
- 県道のあり方について大胆な見直しが必要。人口が大幅に減少する中、道路延長だけが伸びていくと維持管理コストが財政の負担になっていく。(男性／70 歳以上／仙北地域)
- 防災・減災やインフラ維持は県民の安全に直結する重要な分野である。住民との情報共有や連絡体制の充実と管理体制の透明性向上に努めてほしい。(その他／40 歳代／ー)
- インフラの老朽化への対応は、もっとスピード感を持って進められるべき。(男性／70 歳以上／由利地域)
- 最近、インフラ整備・老朽化への対応がされているのは目にしている。秋田市中心部だけでなく、各地域にも行き渡れば良いと思う。(女性／40 歳代／秋田地域)

（８）政策８ 環境・くらしに関する項目

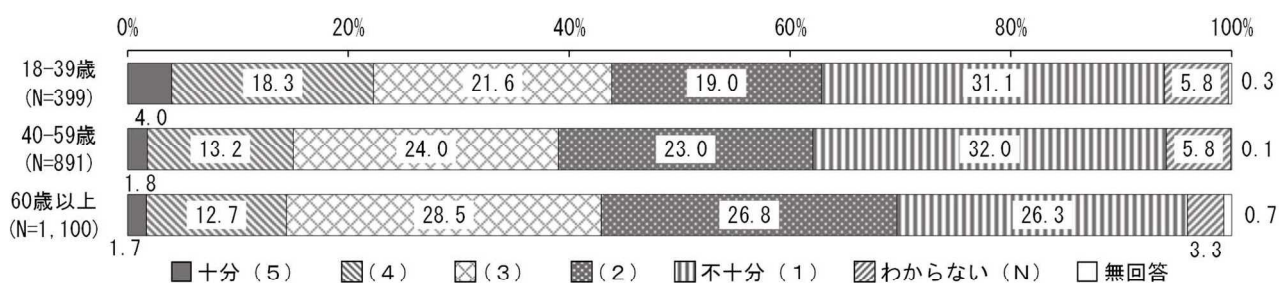
ア 野生鳥獣の保護管理と被害防止対策の推進

問 1-36 ツキノワグマ等の野生鳥獣の保護管理と被害防止対策が進んでいる

満足度の状況



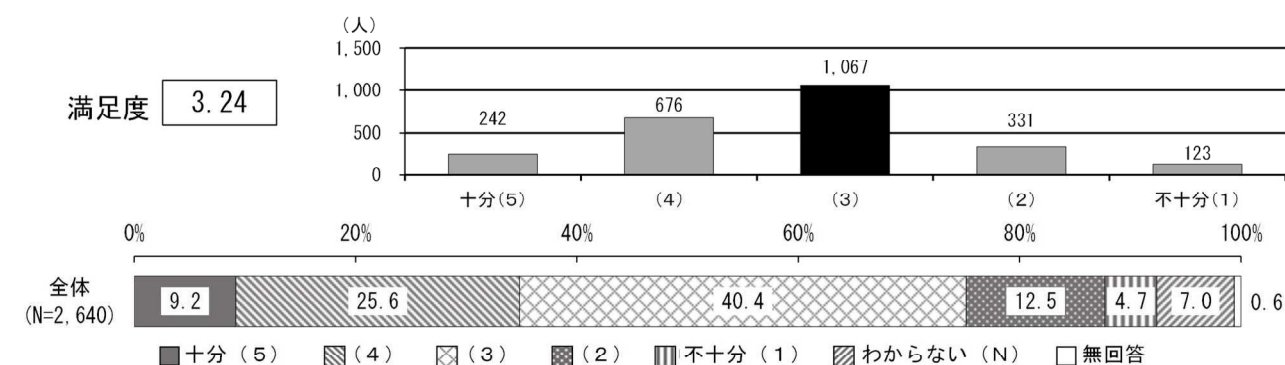
【年代別】



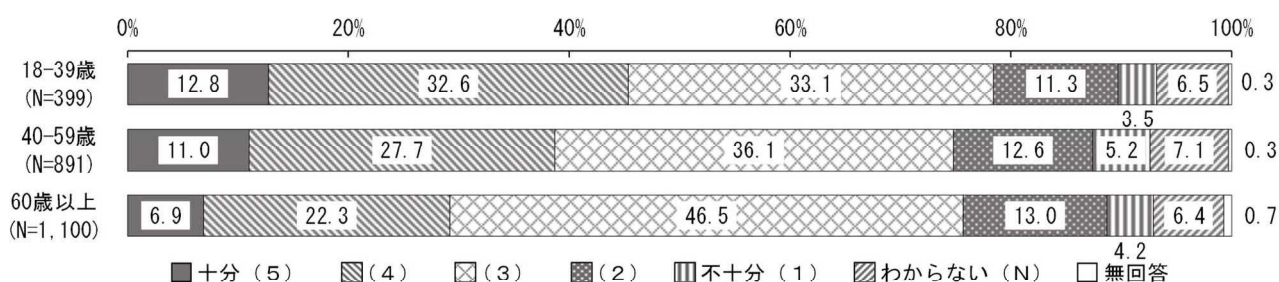
イ 大気、水、土壌等の環境保全対策の推進

問 1-37 豊かな自然と良好な環境（大気、水質等）が保全されている

満足度の状況



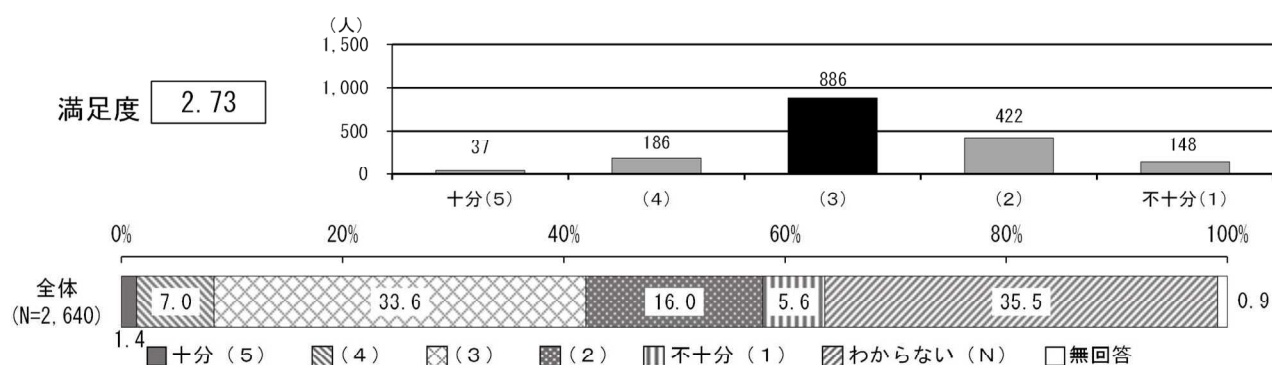
【年代別】



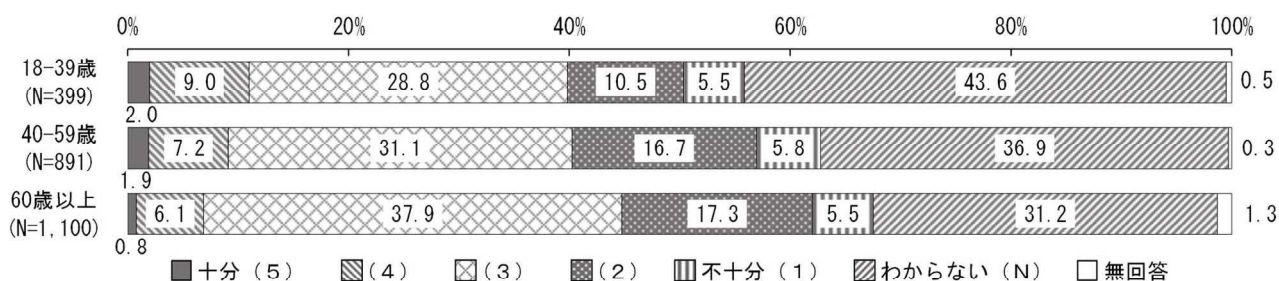
ウ カーボンニュートラルの実現に向けた地域社会の形成

問 1-38 カーボンニュートラルの実現に向けた県民や事業者の取組が進んでいる

満足度の状況



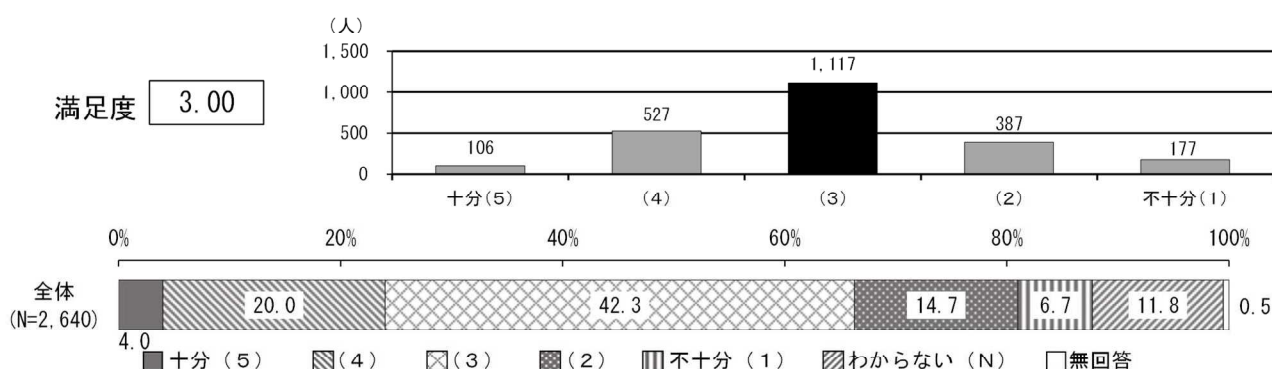
【年代別】



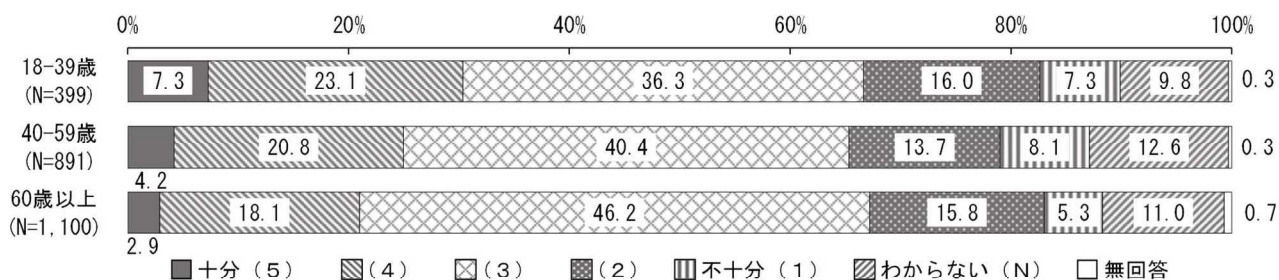
エ 犯罪・事故のない誰もが穏やかで安全に暮らせる地域の実現

問 1-39 犯罪や事故のない地域づくりが進んでいる

満足度の状況



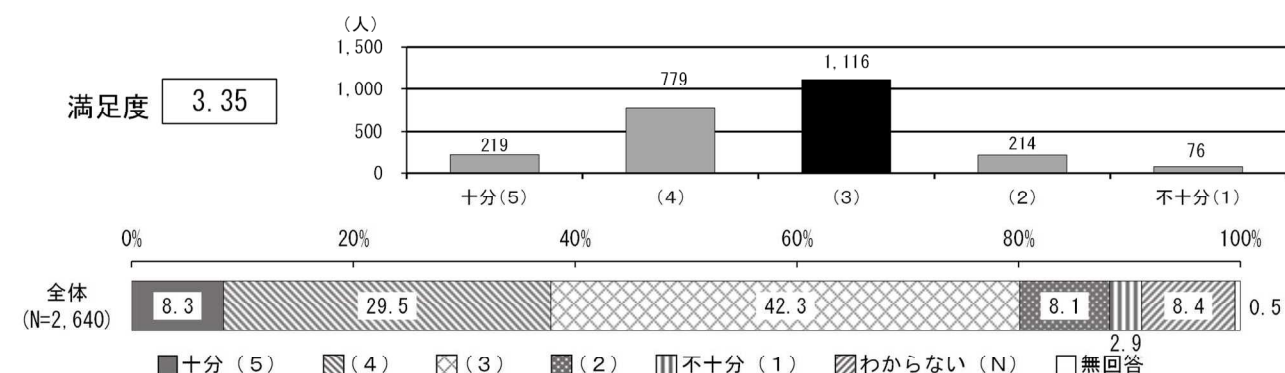
【年代別】



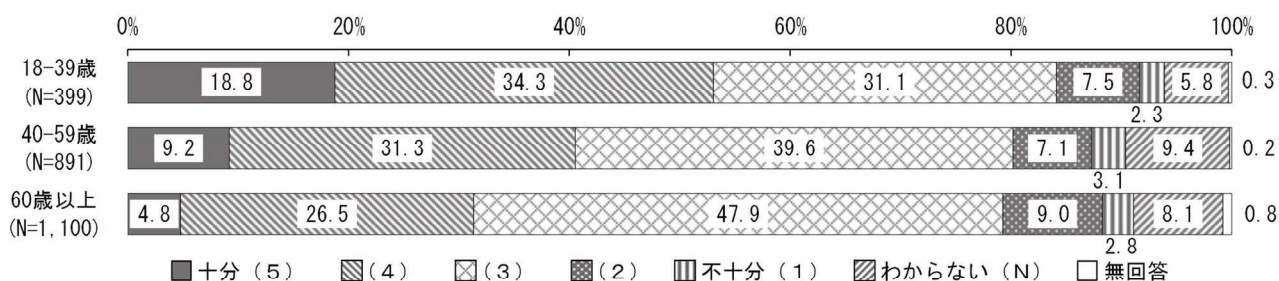
オ 食品衛生管理の推進

問 1-40 食の安全性や良好な衛生環境が維持されている

満足度の状況



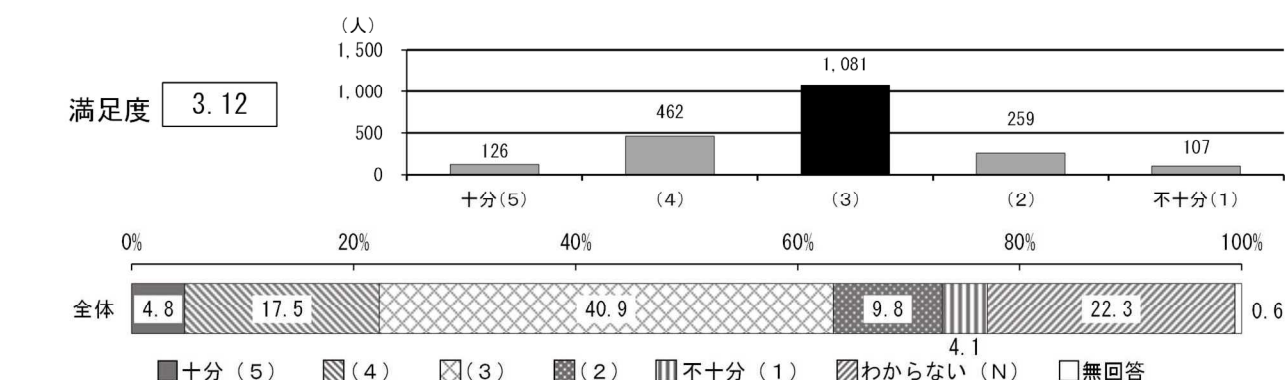
【年代別】



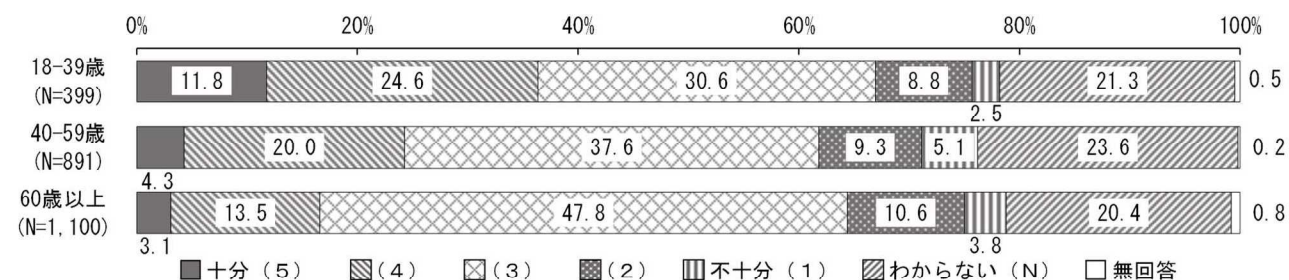
カ 動物の愛護と適正な飼養の推進

問 1-41 動物の愛護と適正な飼養が進んでいる

満足度の状況



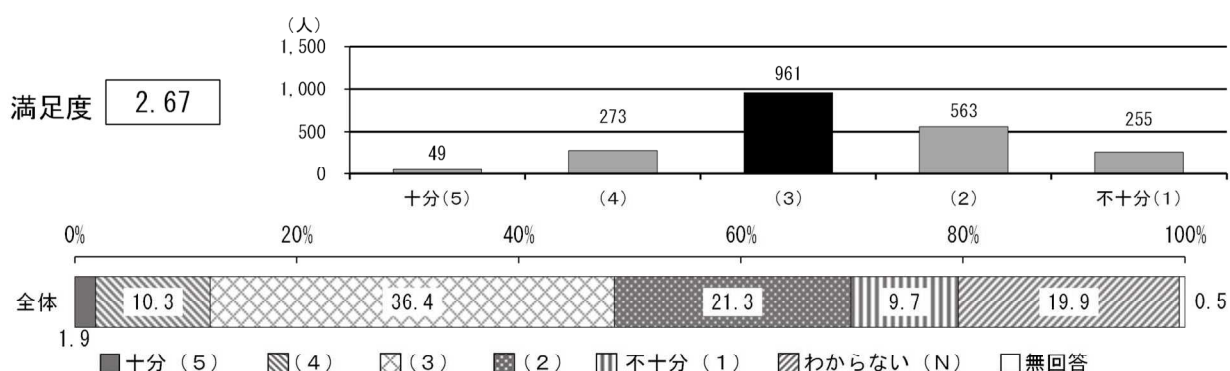
【年代別】



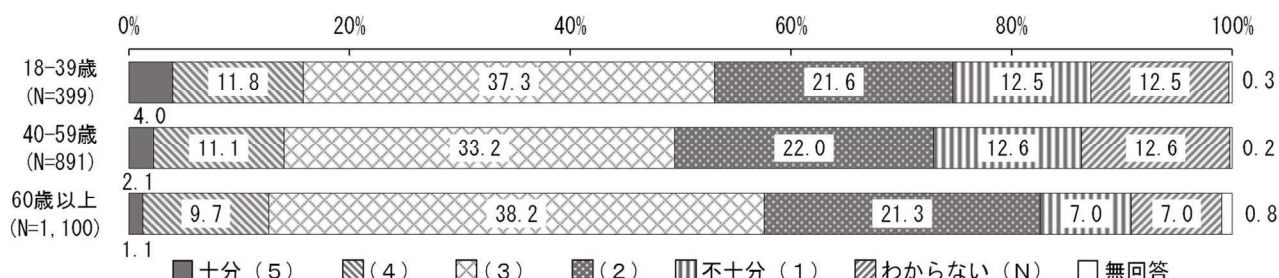
キ 県民生活を支えるデジタル技術の普及促進と情報通信インフラの充実

問 1-42 県民生活を支えるデジタル技術の普及が進んでいる

満足度の状況



【年代別】



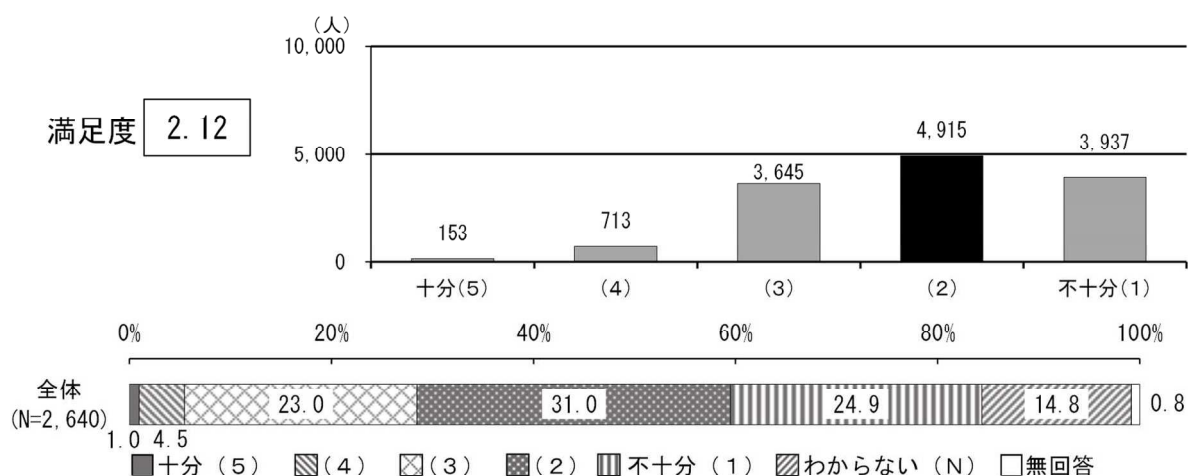
政策 8 環境・暮らしに関する意見

- クマ対策の自衛隊派遣は心強かった。しかし、被害が減っているとは言い難く、息の長い取組をこれからも続けてほしい。(女性／40 歳代／北秋田地域)
- クマ対策については、観光や産業・経済活動においてもマイナスの面が大きいいため、保護よりも積極的な駆除を行った方がイメージが良いと思う。(男性／40 歳代／平鹿地域)
- カーボンニュートラルについて、県民意識が向上しているとは言い難い。更なる普及啓発が必要。(男性／40 歳代／秋田地域)
- 高齢者の詐欺被害防止のため、無料サポートセンターを設置してもらいたい。(男性／70 歳以上／秋田地域)
- デジタル化は、業務スピードや正確性の向上が図られる一方、個人情報の漏洩や詐欺被害も多く発生する。そうしたメリット、デメリットについて県民にしっかりと広報していくべき。(男性／60 歳代／秋田地域)
- 高齢者の多い秋田において、デジタルで情報を発信しても届いているのか疑問。(女性／50 歳代／仙北地域)

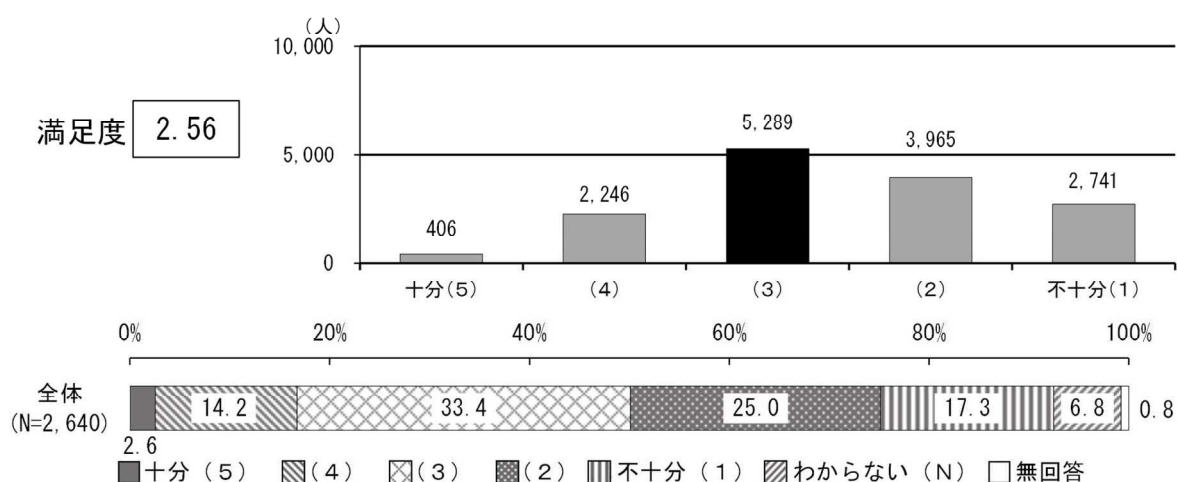
2 (参考) 各政策の満足度の平均値

「1 各政策の施策に関連する項目についての満足度」について、政策毎に平均値を計算した結果は次のとおりである。

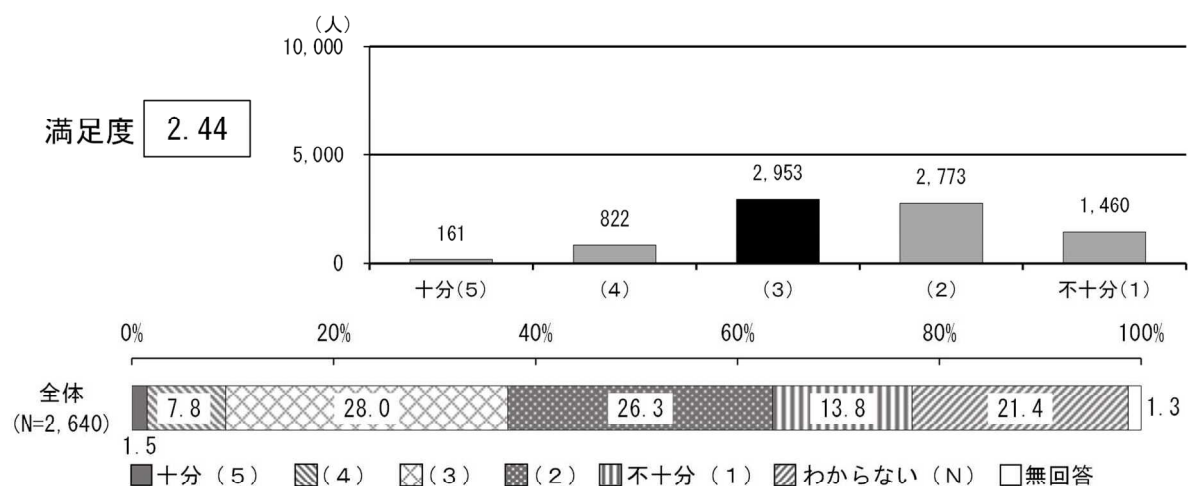
政策1 未来づくり (問 1-1～問 1-6)



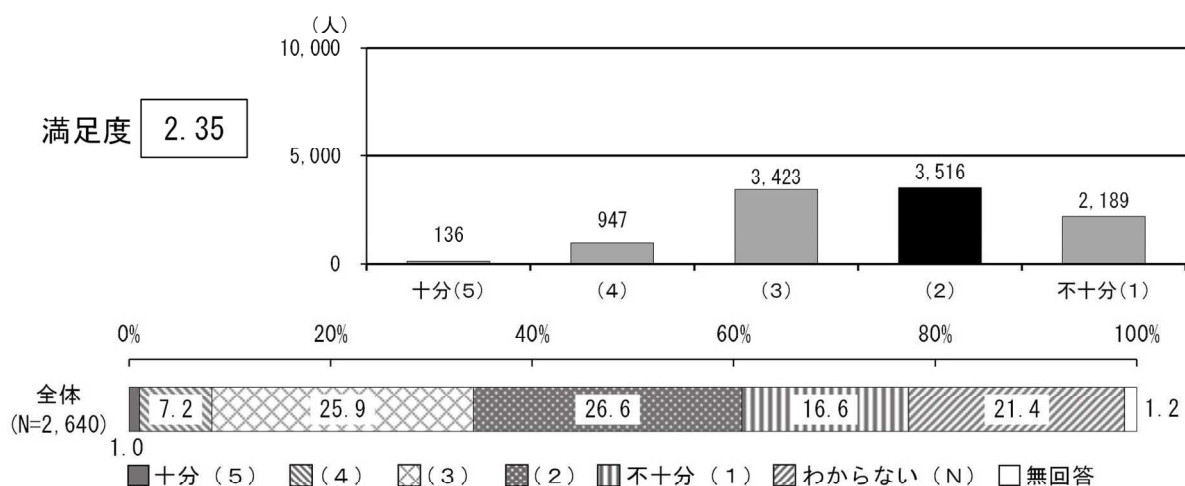
政策2 観光・交流 (問 1-7～問 1-12)



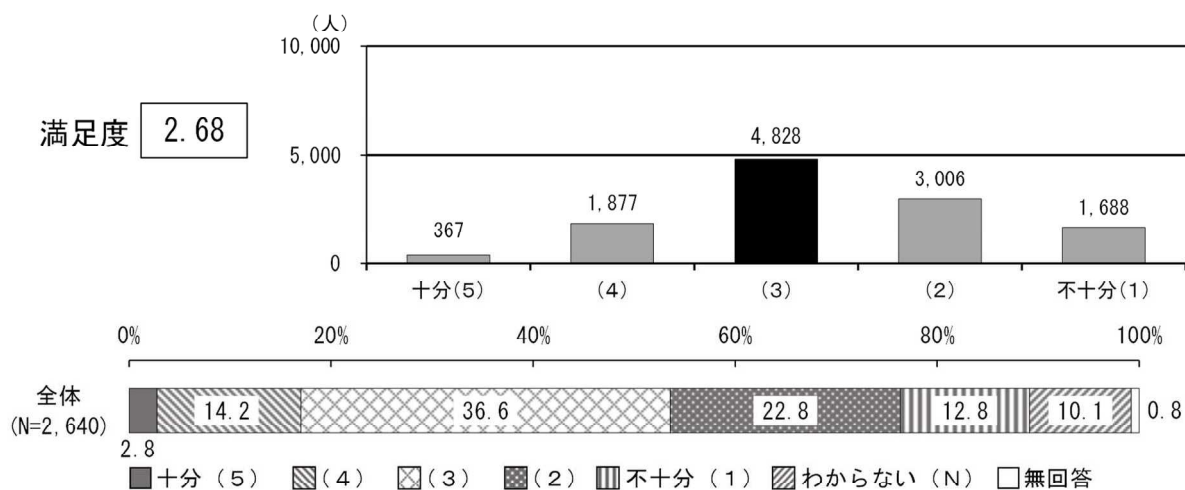
政策3 農林水産 (問 1-13～問 1-16)



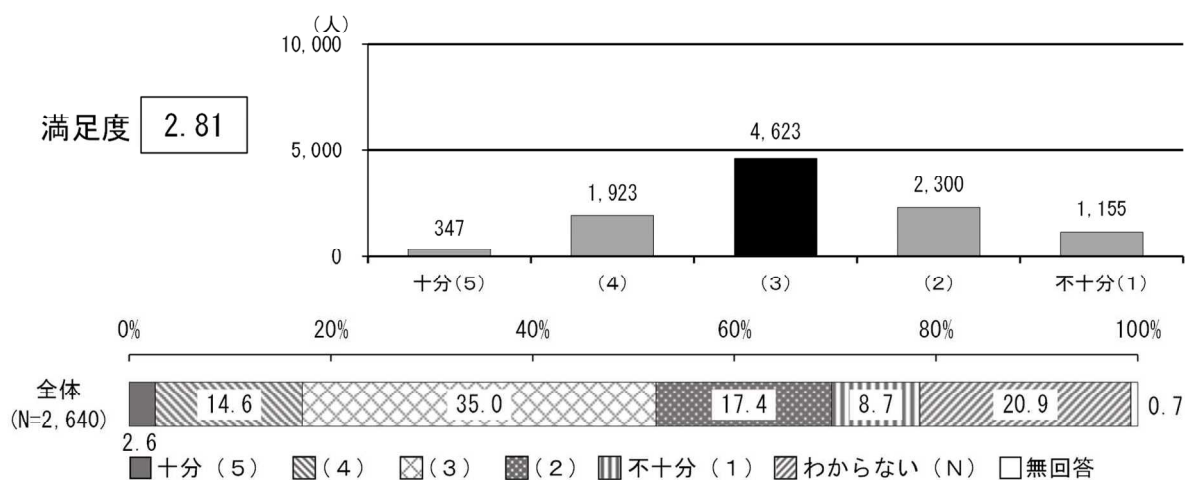
政策4 産業（問1-17～問1-21）



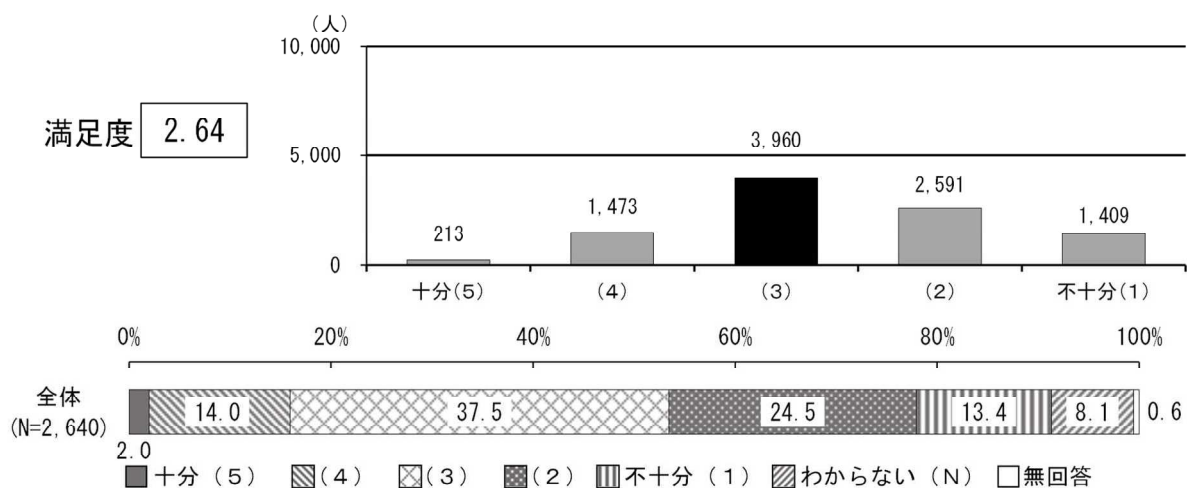
政策5 健康・医療・福祉（問1-22～問1-26）



政策6 教育・人づくり（問1-27～問1-31）



政策7 防災・減災・県土強靱化（問1-32～問1-35）



政策8 環境・くらし（問1-36～問1-42）

